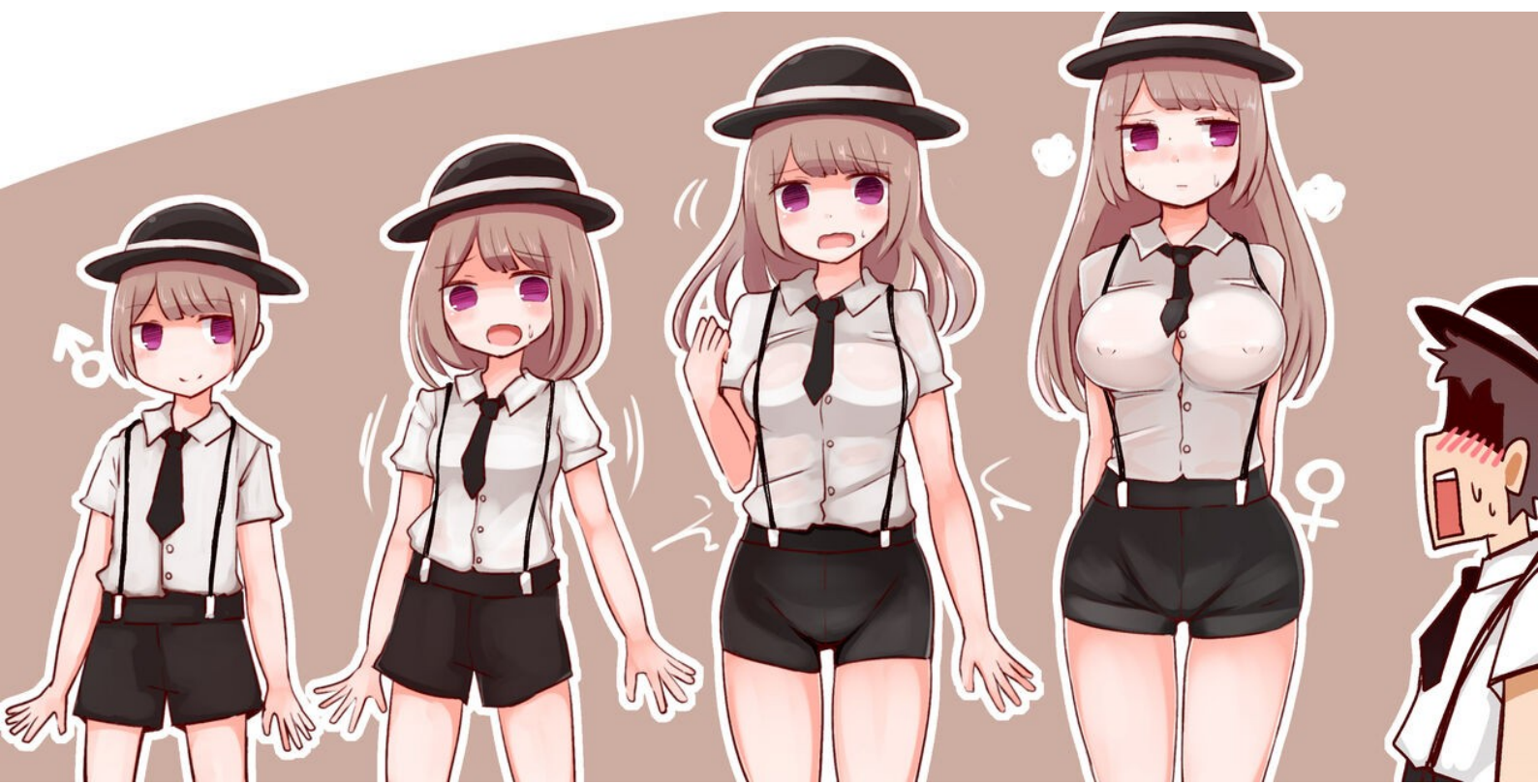




茶畑ヴァエの  
TS短篇集3

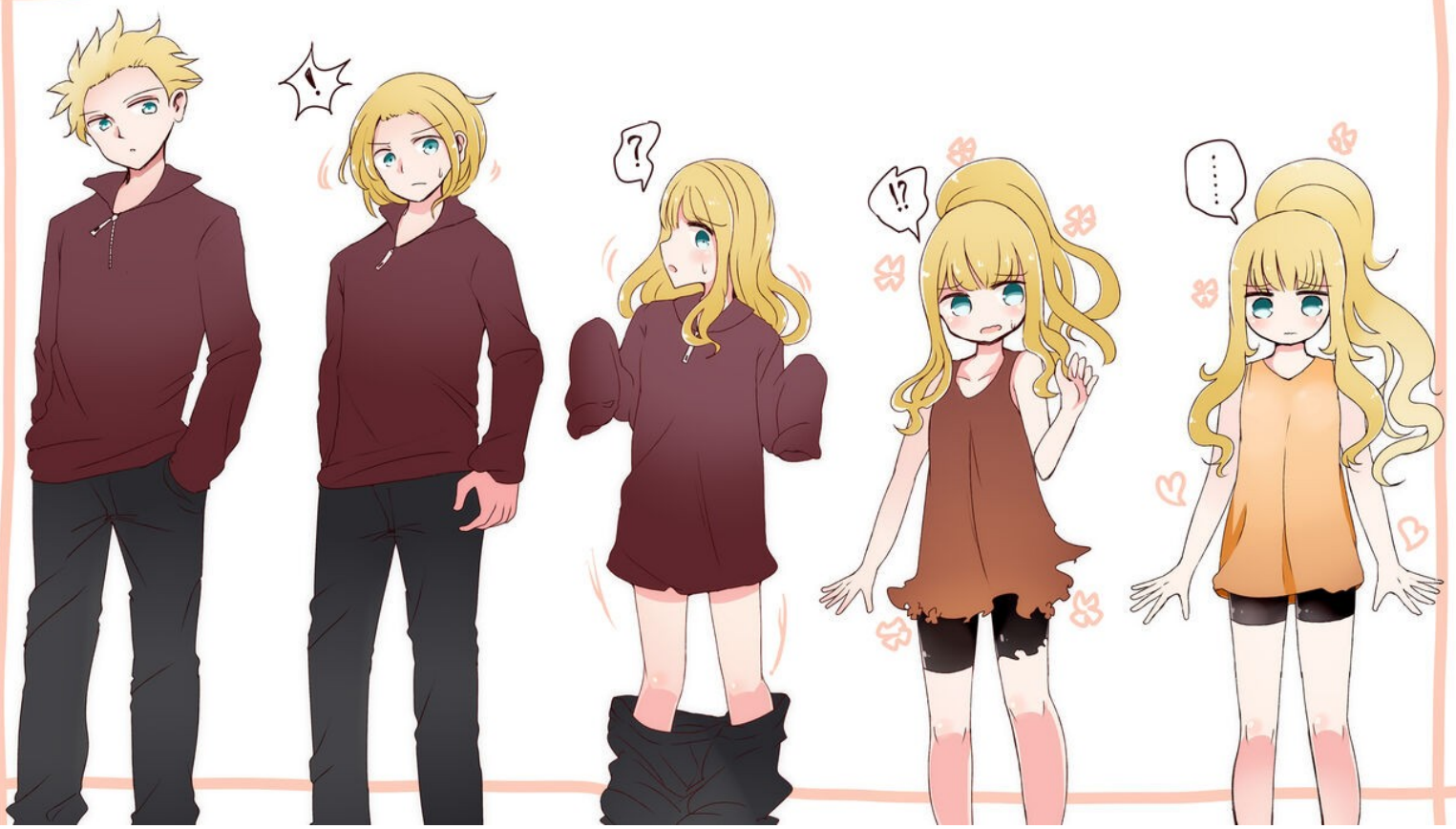










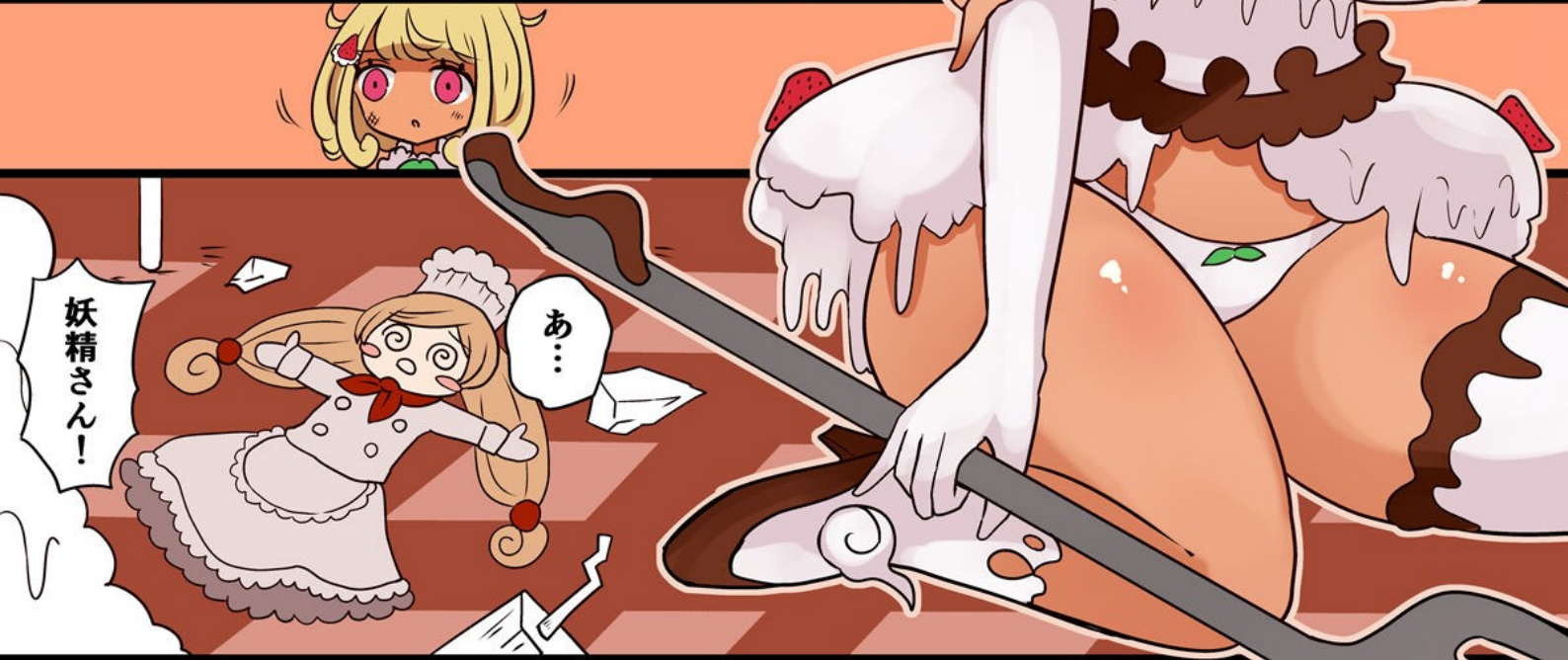






はあはあ…

なんとかか…  
魔女を追い返したけど…



あ…

妖精さん!



ひとまず  
あのお店に  
隠れよう

この姿で帰るわけにも  
いかないし…



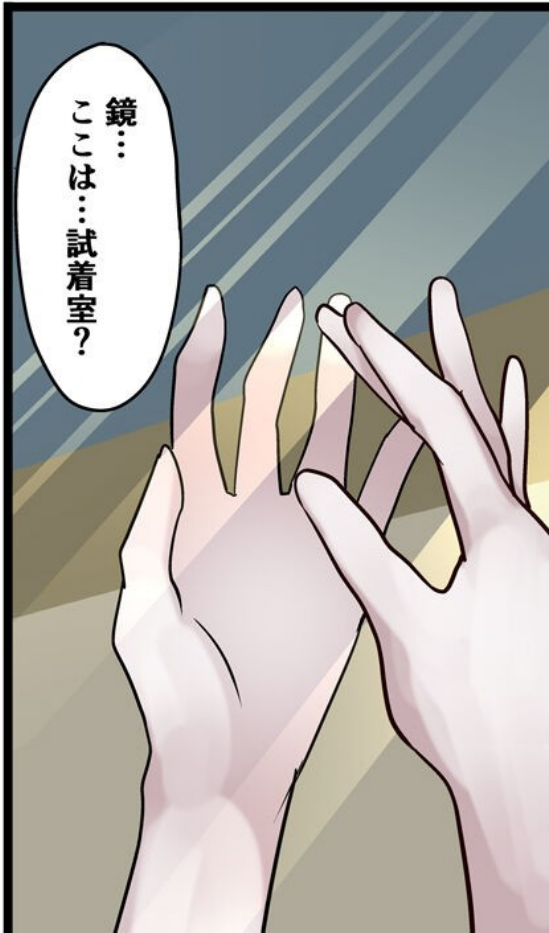
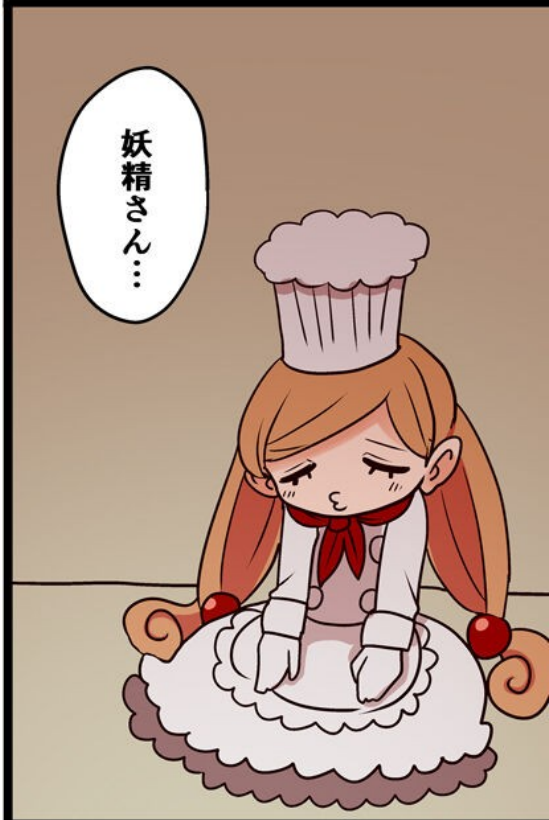
どうしよう  
妖精さんがいないと  
変身解除できないのに…

ここなら  
安全かな…

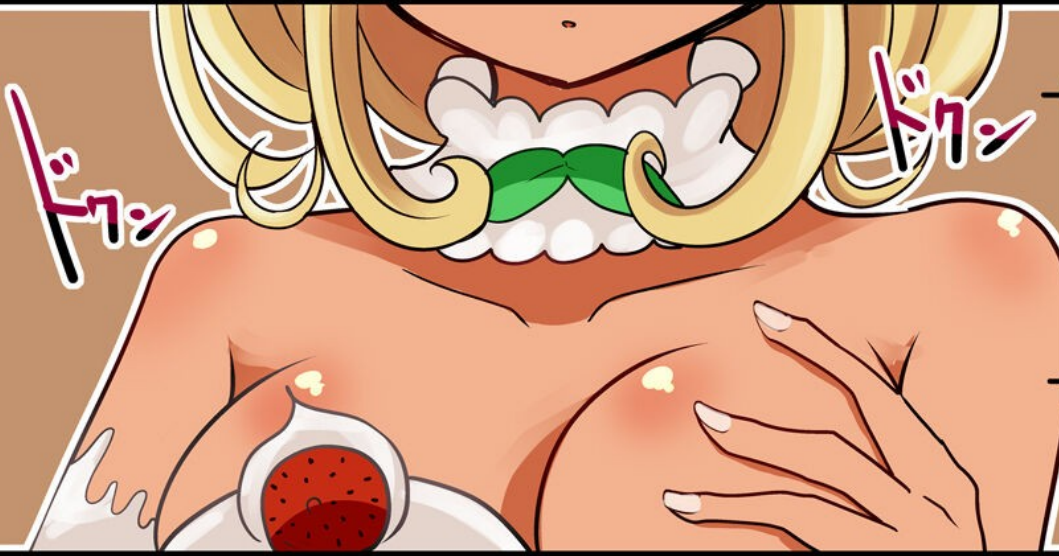
しばらく隠れてよう

妖精さん…

鏡…  
ここは…試着室？



あんまり  
マジマジと  
見たことなかったけど...

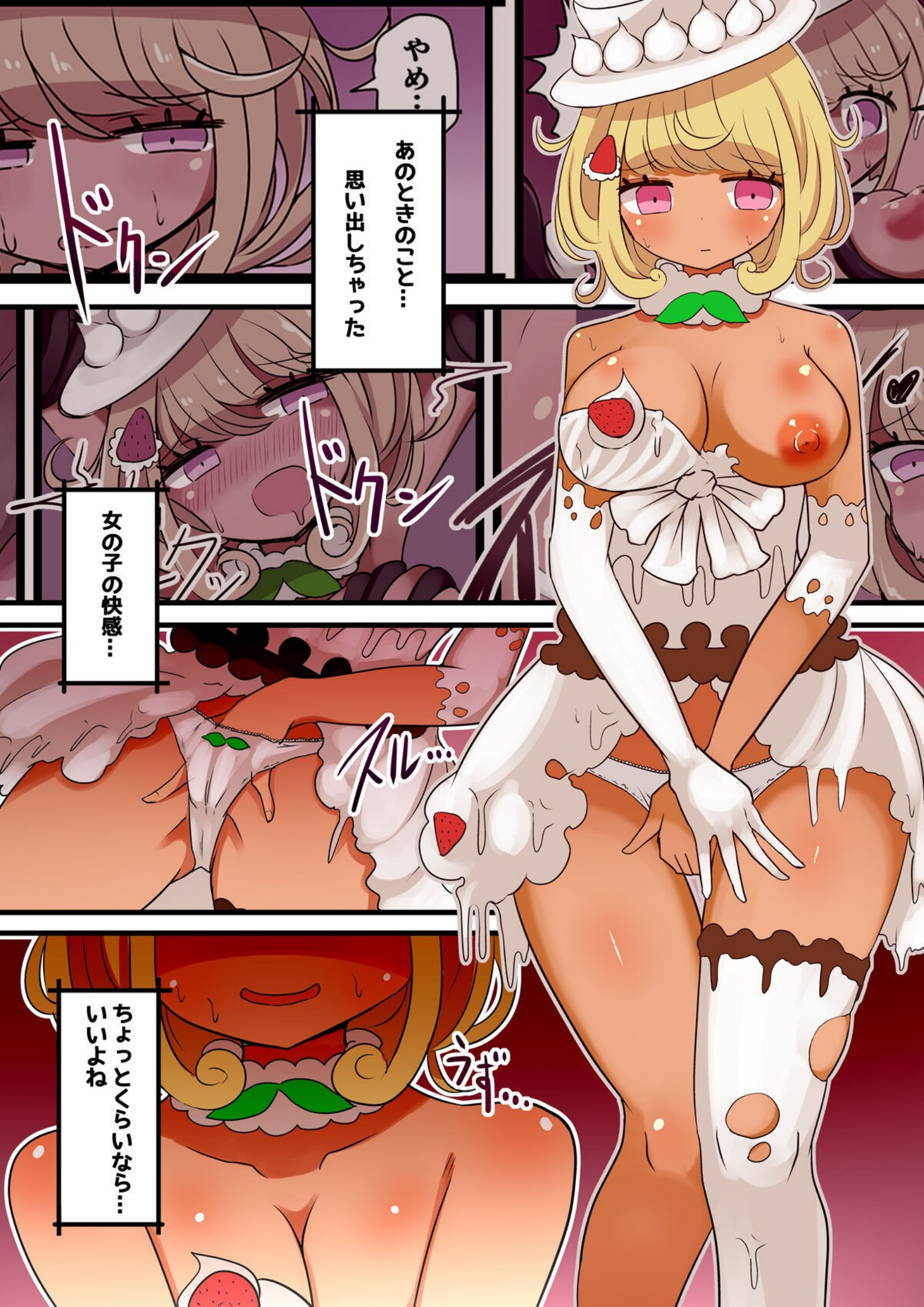


あははは...

こんなに  
エッチな恰好なんだ...



キョ♡ キョ♡ キョ♡



やめ...

あのムカのリズム...  
思い出しちゃった

女の子の快感...

ブル...

ちよっとくらくらいたら...  
いいよね

アッ...



すっごい...

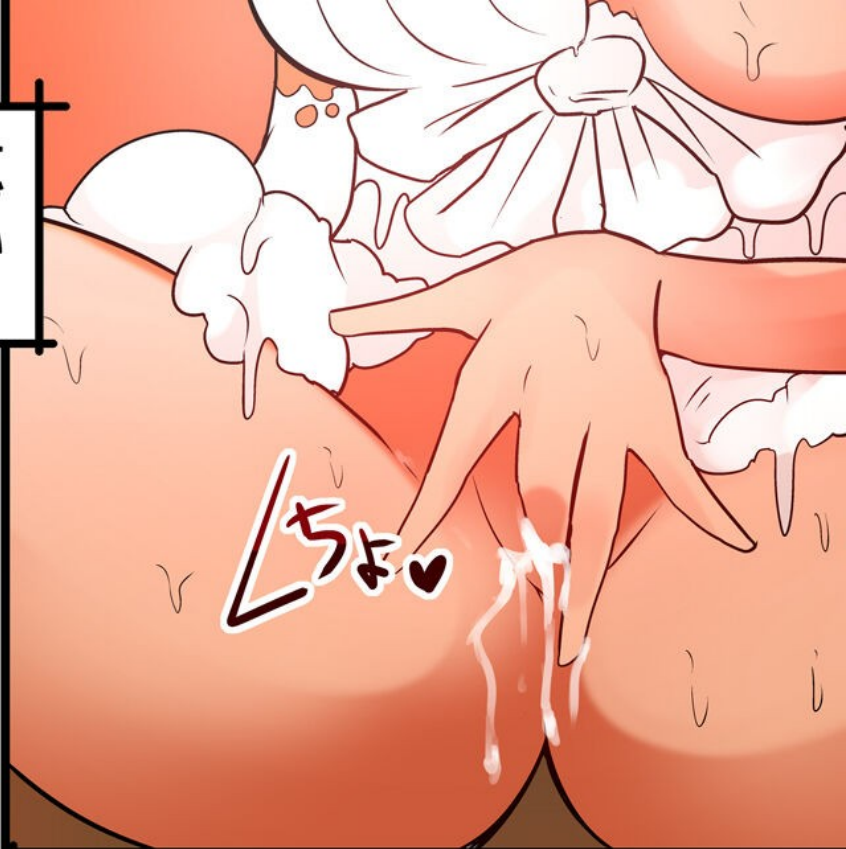
♡チゅ♡

あたたかくて...

ぼくの膣内なか...

♡チゅ♡

♡チゅ♡



♡チゅ♡

ぬるぬると...

ぐちよぐちよで...

指を動かすたびに  
おなかに  
キュンキュンくる...

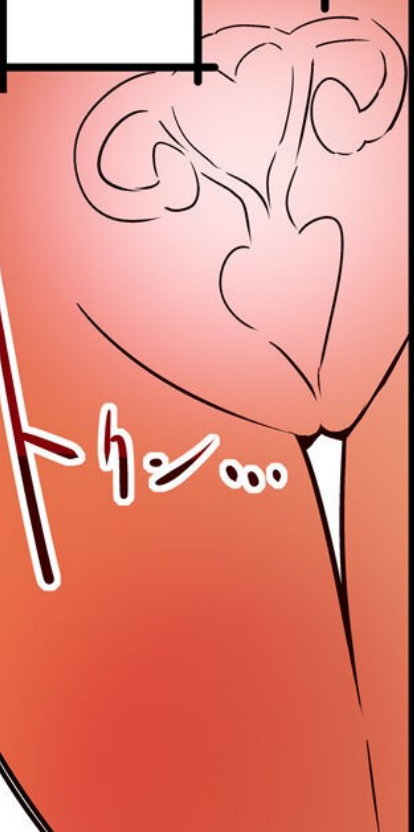


♡チゅ♡

♡チゅ♡

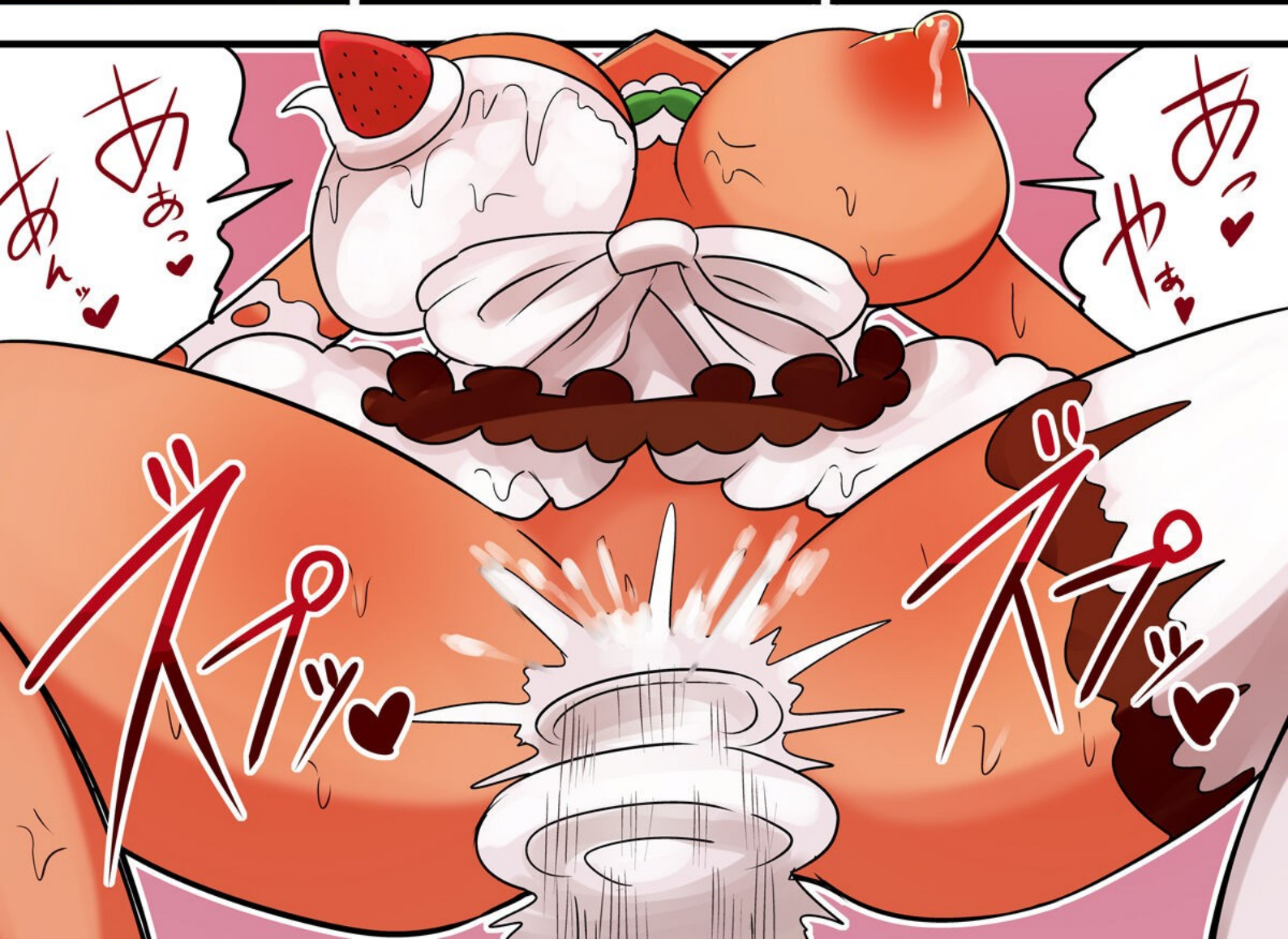
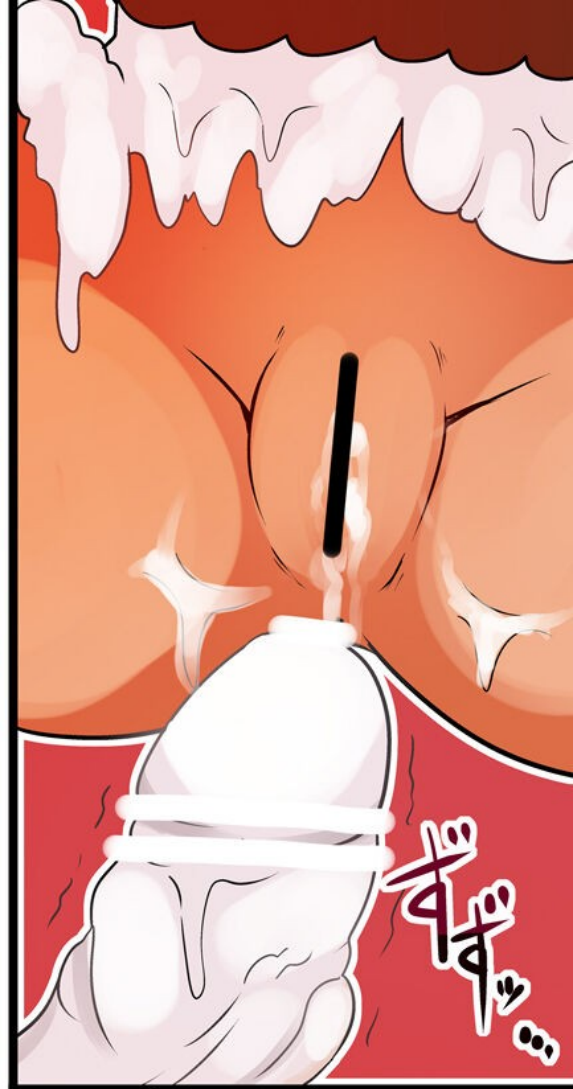
♡チゅ♡

♡チゅ♡



♡チゅ♡







エッチな魔法少女の  
姿が目には焼き付いた――

カラダを動かす気になれない……

まだ快感の余韻が残ってるんだ……

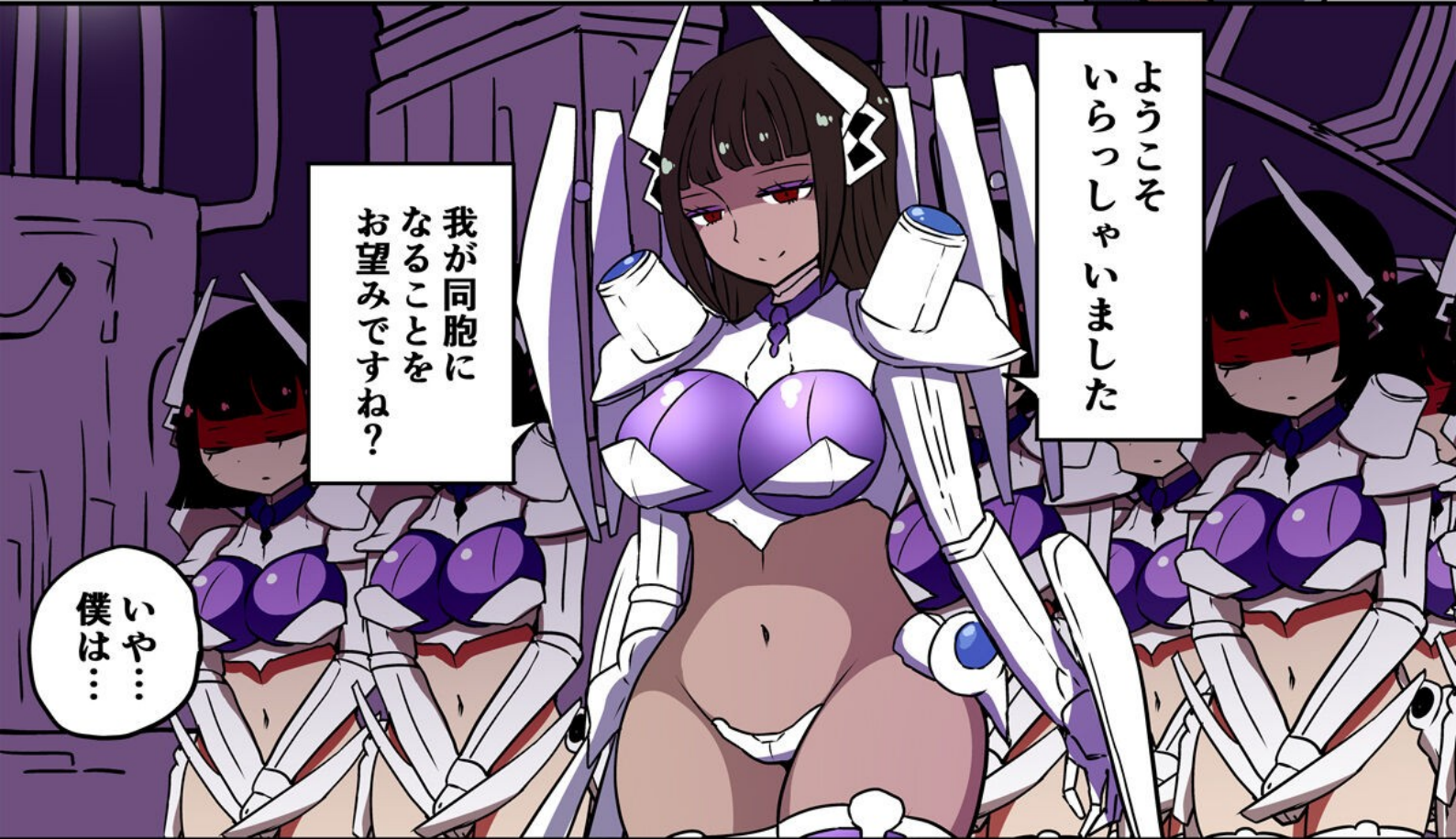
でも……こんな姿  
妖精さんに見られたら……

見えましたよ……

そのあと  
妖精さんに  
たっぷり叱られた



何だ  
お前たちは…



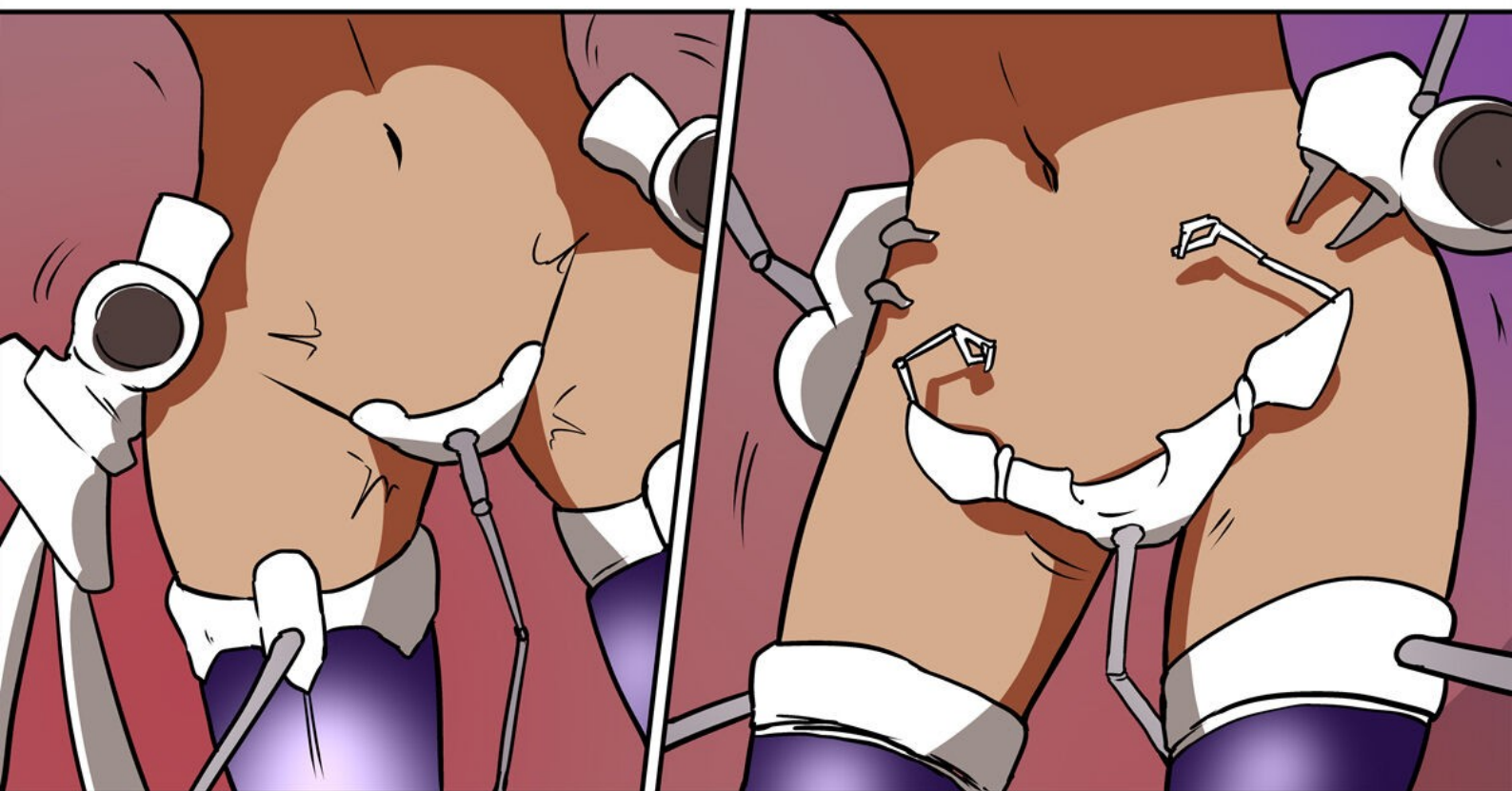
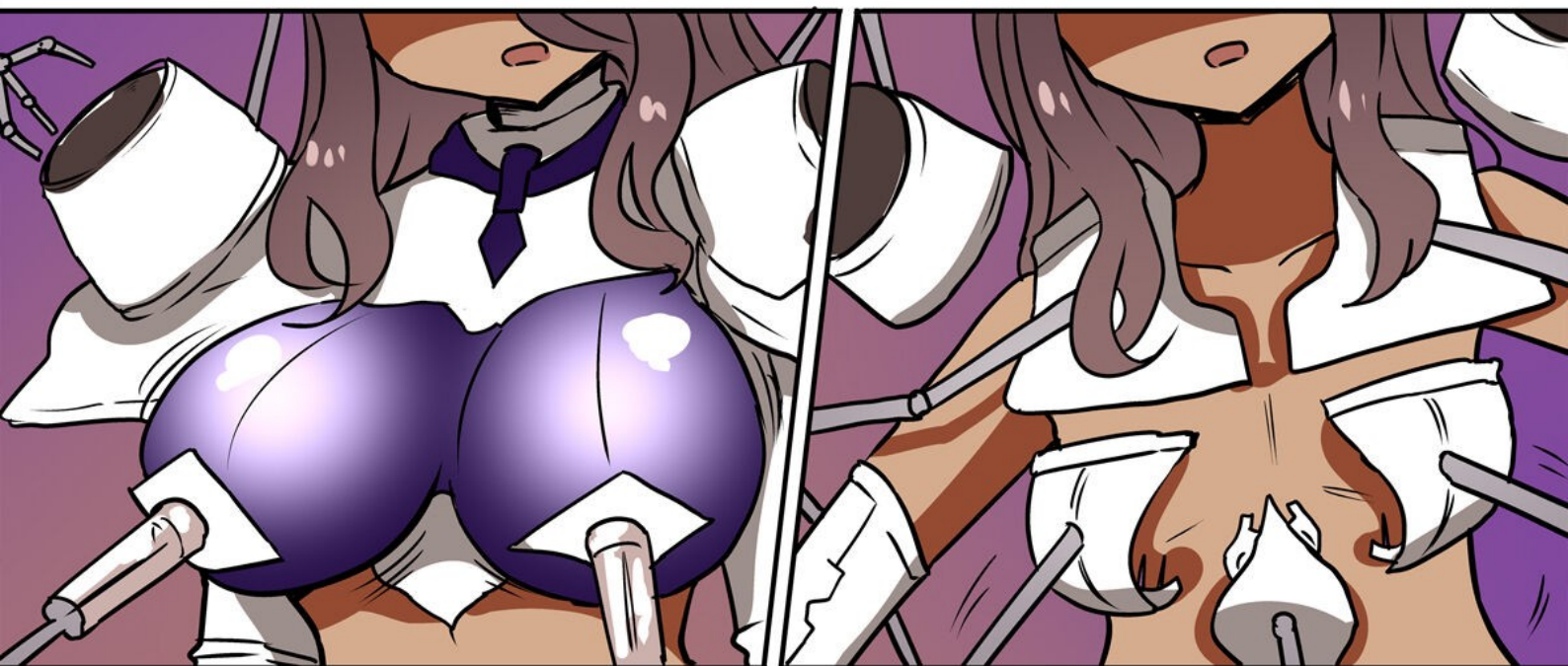
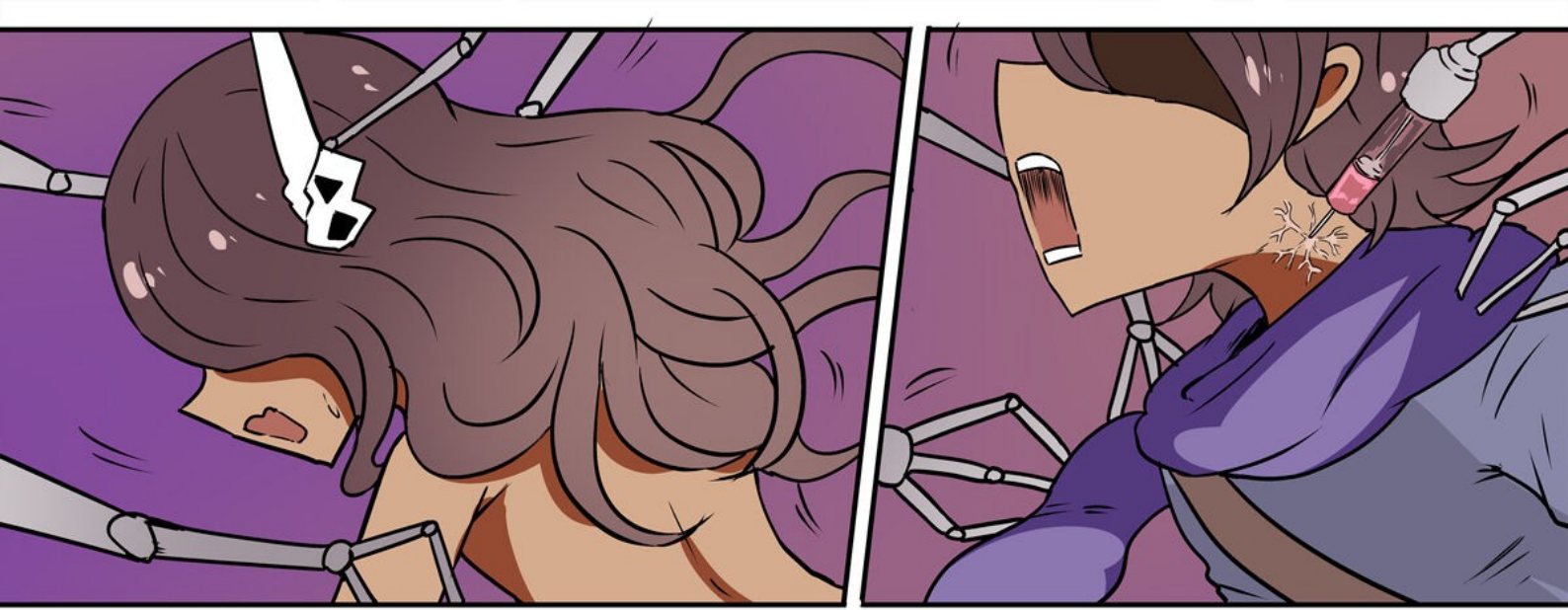
ようこそ  
いらっしやいました

我が同胞に  
なることを  
お望みですね？

いや…  
僕は…



!?



くっ…  
僕は…二体  
どうなったんだ…

!?

奴らと同じ  
姿にされたのか…?

くそっ…

元の体に戻せ!

機械化工程  
女体化工程  
共に完了

自立制御プログラム  
インストール中

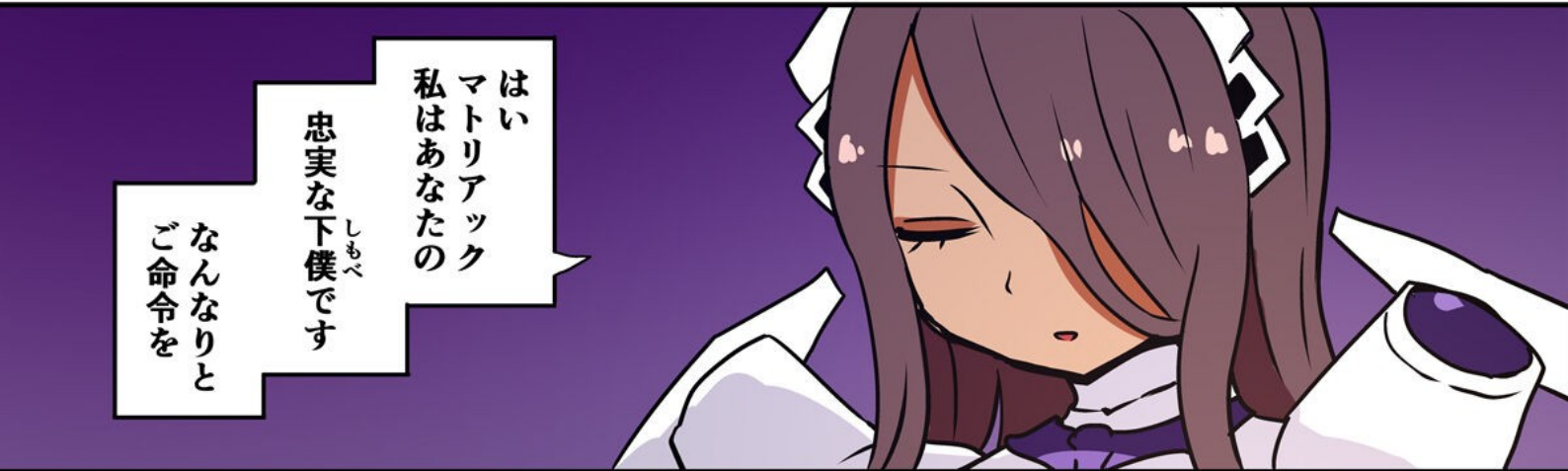


素晴らしい  
これであなとも  
我々の一員です



インストール完了

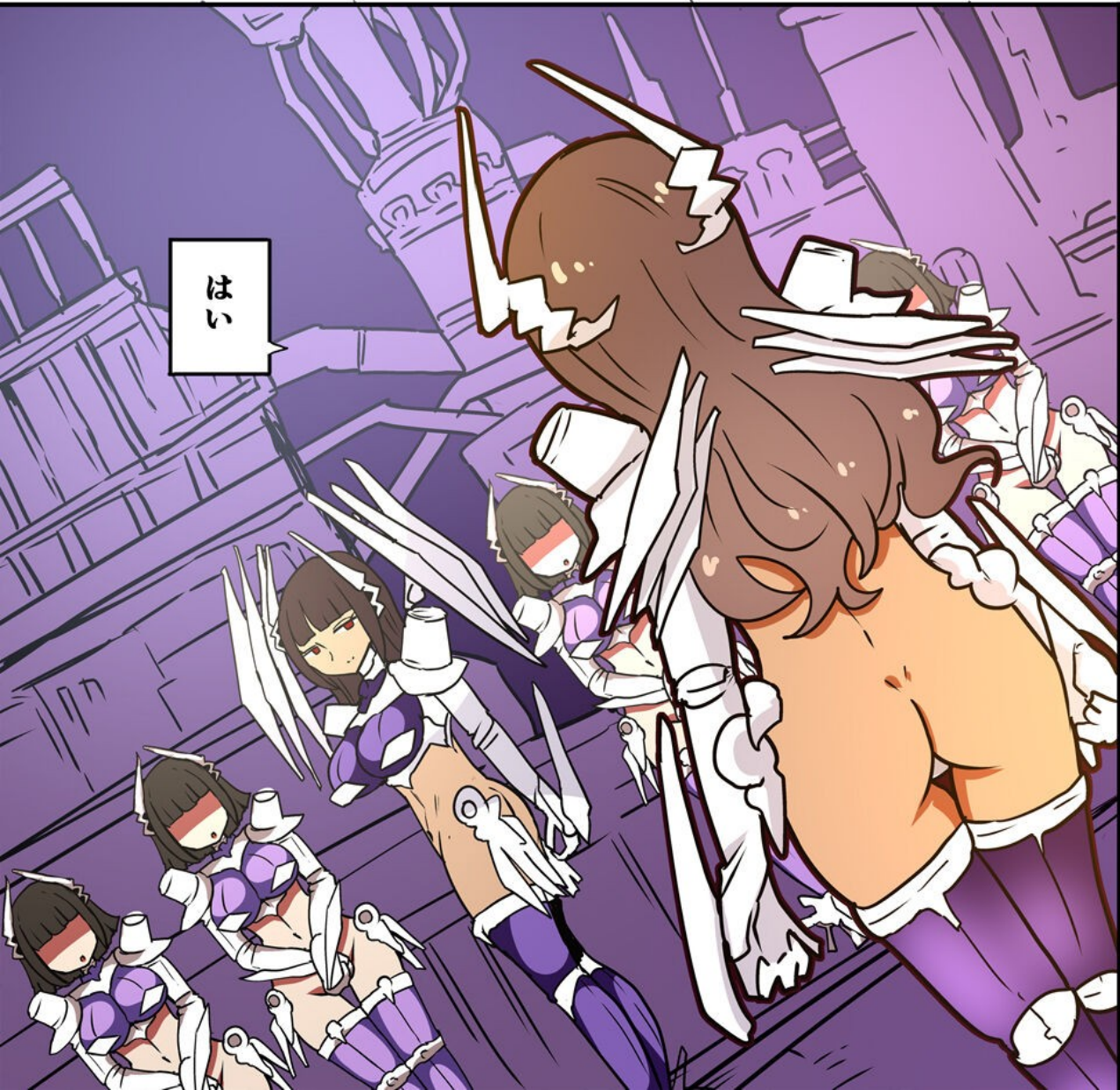
思ったことが  
口に出せない



はい  
マトリアック  
私はあなたの

忠実な下僕です  
しもべ

なんなりと  
ご命令を



はい



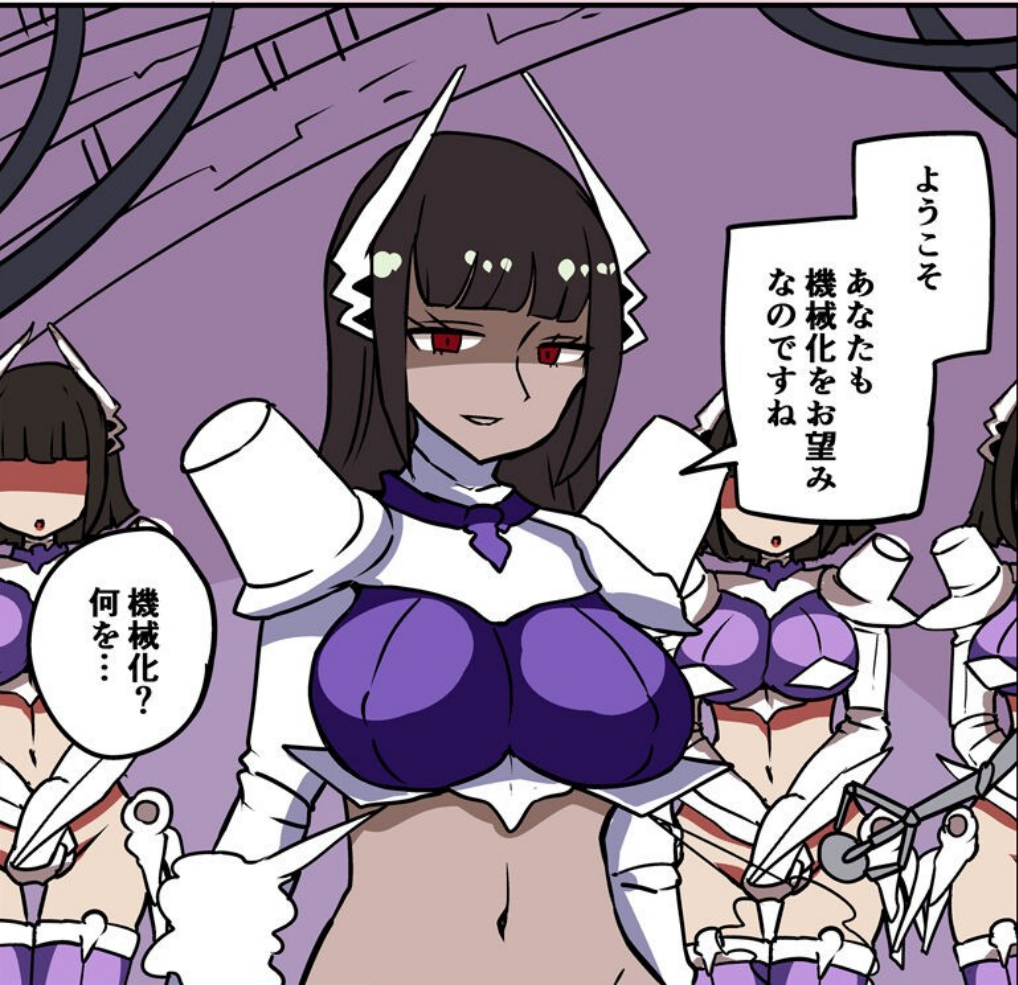
では  
いきましよう



私のボーイフレンドが  
消息を立てて一か月

どうやらこの地域で  
目撃情報が途絶えたらしい

私は彼を探すため  
この地域を支配するという  
機械人形の集団を尋ねた



ようこそ  
あなたも  
機械化をお望み  
なのですね

機械化？  
何を…



彼を  
探してるんだけど



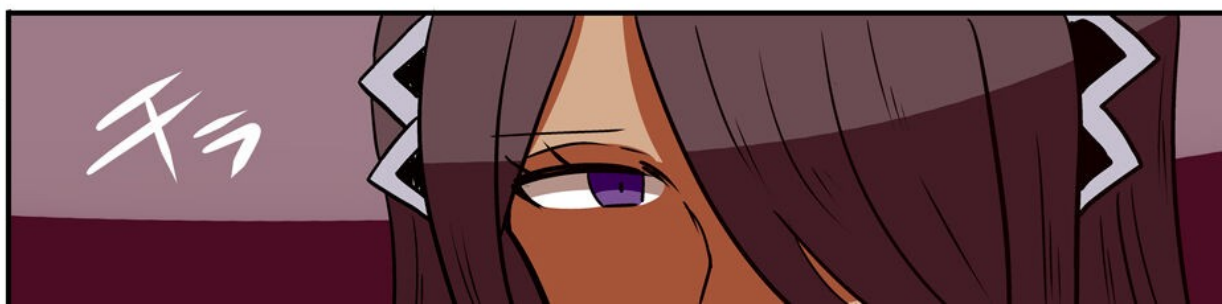
何か知ってる？



何...?  
話が通じないの?



ただいま  
調整中でしたが  
すぐに準備  
できますので  
お待ちを



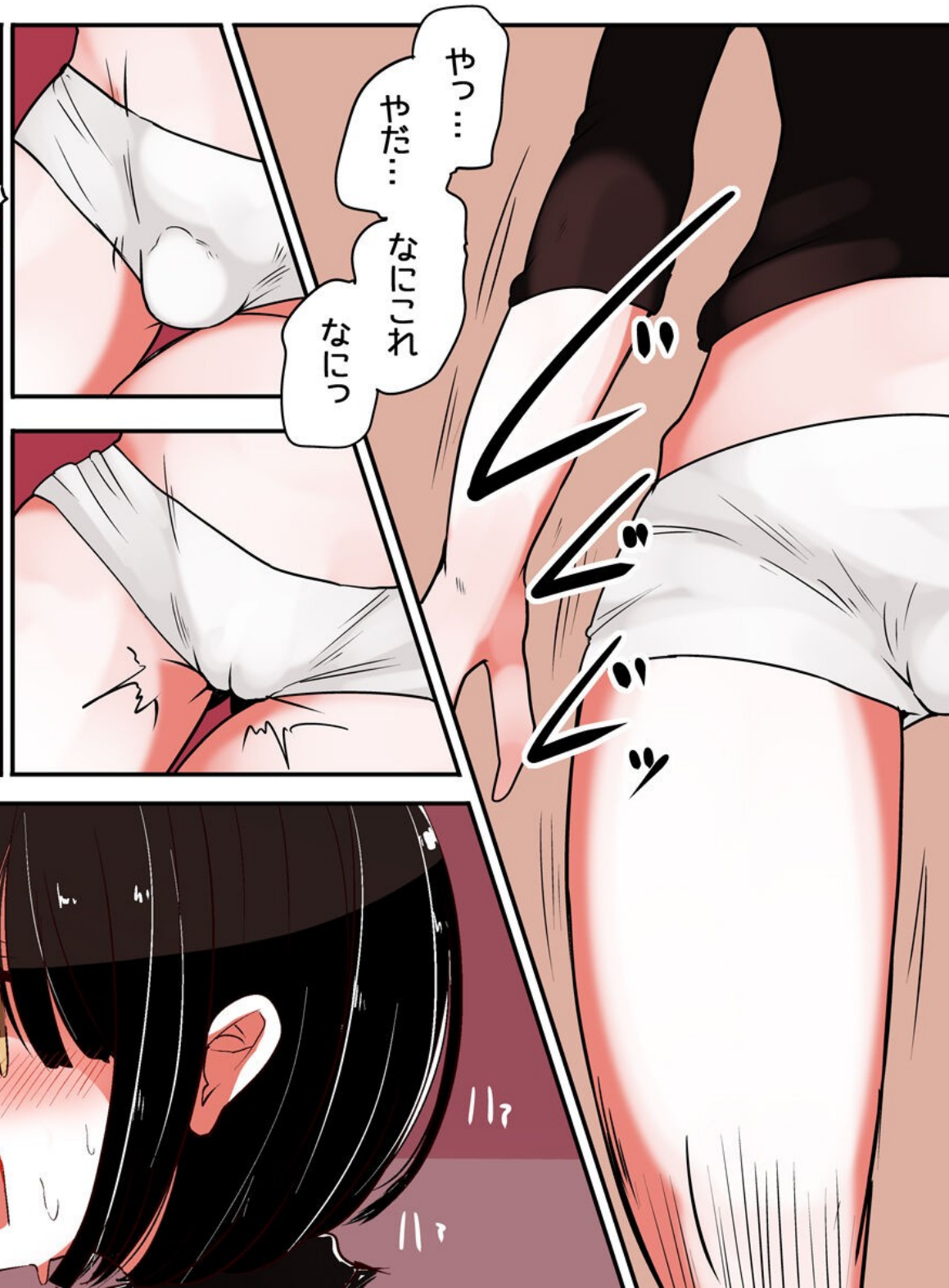


逃げなきゃ...

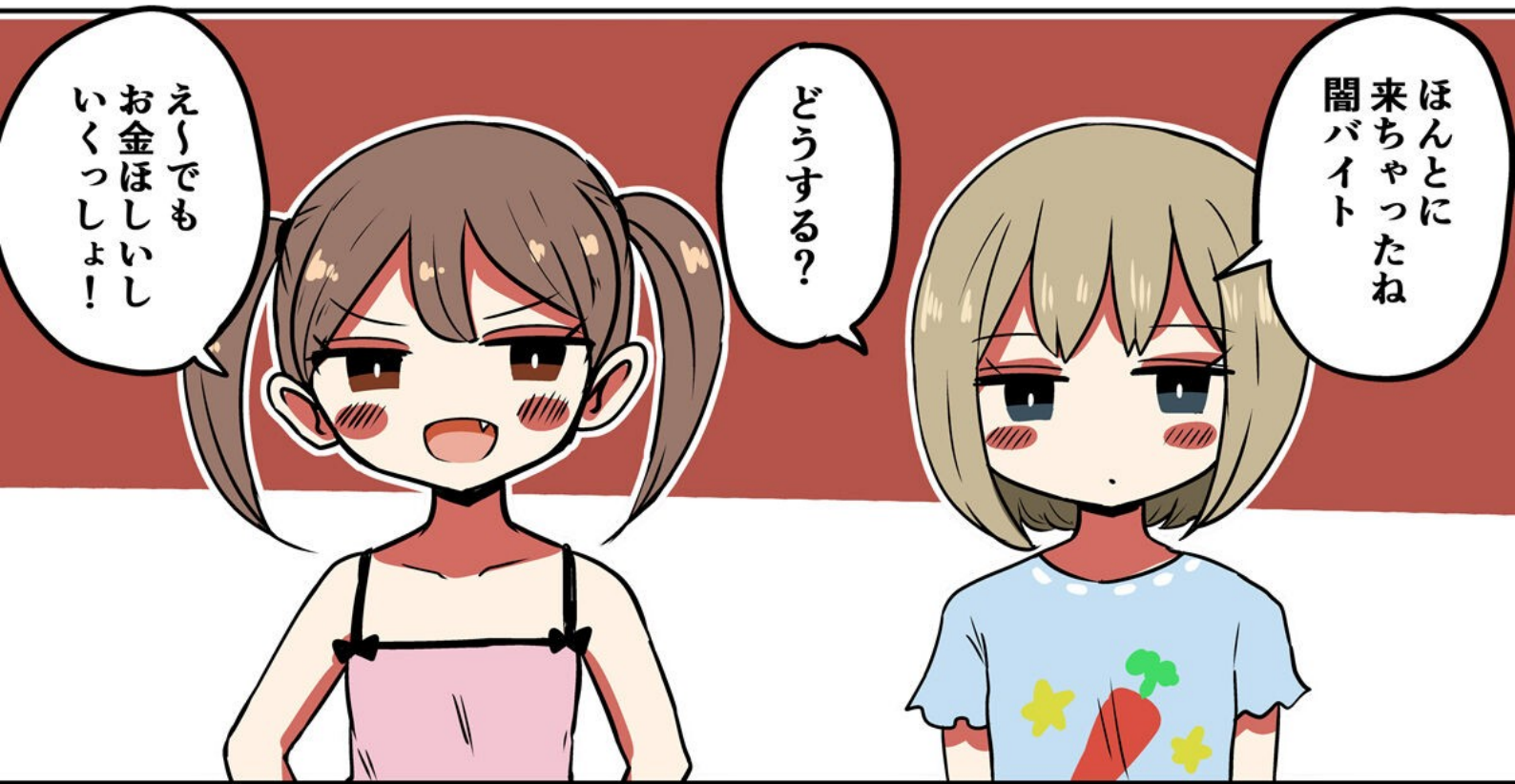


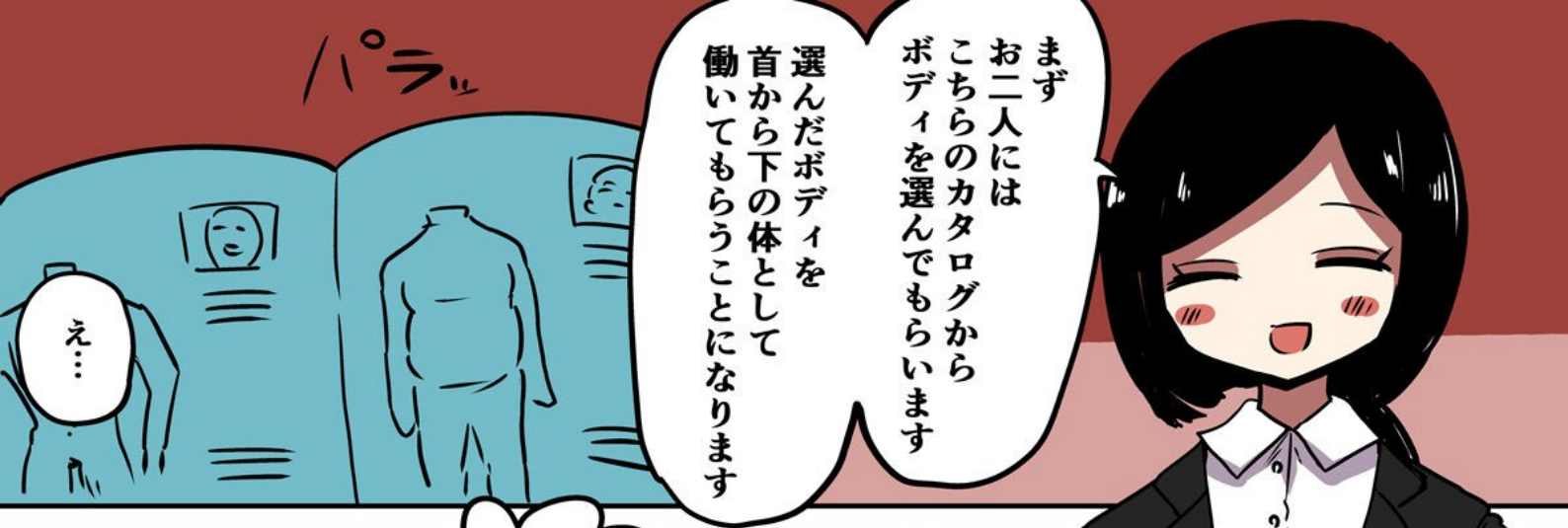
逃げなきゃ











まず  
お二人には  
こちらのカタログから  
ボディを選んでもらいます

選んだボディを  
首から下の体として  
働いてもらうことになります



なんか  
おもしろそー  
じゃん！

ま...いっか



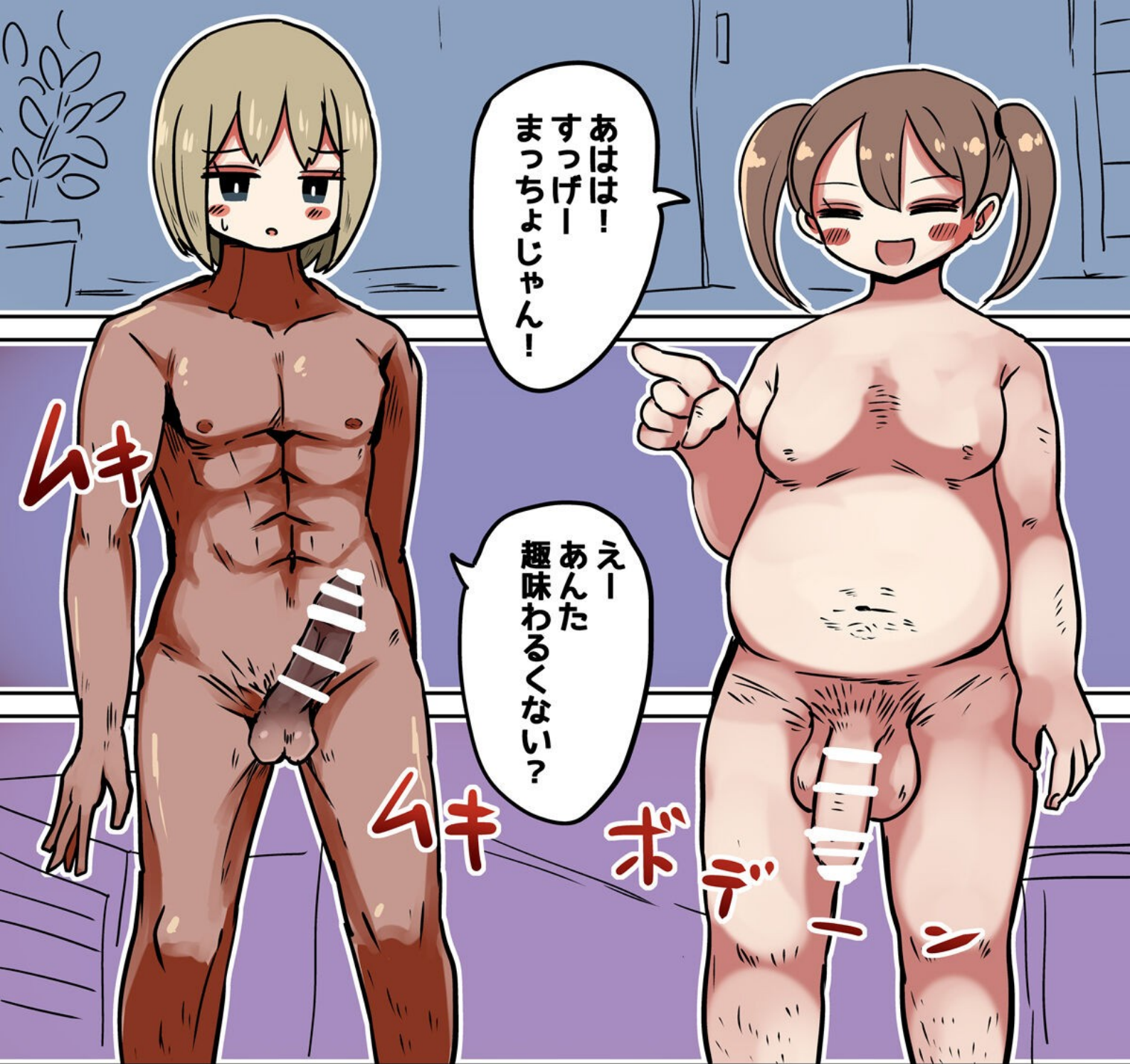
あたしこれ！

じゃ私はこれ



それでは  
こちらの  
機械で...

首をすげ替えます



あはは！  
すっげー！  
まっちょじゃん！

えー  
あんた  
趣味わるくない？

ムキ

ムキ

ボデー

ー

ン



ね…  
さわりっこ  
してみない？

んっ…  
てかもう  
さわってるし…

スリスリ…



あんたのも  
だんだんかたくなってきている  
てか...おっせ...  
おっせくなってる...



すっ...  
めっちゃかたいじゃん...  
びびびびびび...

さあさあ  
スリスリ



あっあっ...  
なんかぞわぞわする...

なんかきてる...  
おちんちんやばいっ...

ん？ ！！？ ！！？ ！！？



わたしも...  
なんかきちゃいそ...

なにこれ...  
あ...ああっ

ドキ ドキ



あぁぁぁ♡

あぁぁ♡



はい…



準備が  
済みましたら  
こちらへ



性行為の  
サービスを  
してもらいます



お二人には  
それぞれ  
女性のお客様と



でも体めっちゃ  
仕上がってんじゃないん

え〜マジ  
かわいい〜

ガキヤ



あら…おっさい…

でも可愛らしい  
お顔なのね

ガキヤ







カラコン



おちんちん



どうだった...?



うん



だよね

バイト用の  
ボディを持ち出して

ボディの持ち出し  
ですか？  
可能ですよ



その後  
おちんちんが  
忘れられなくなった  
私たちは



え…  
どうしたの…??



へへーん  
すごいでしょ  
この体



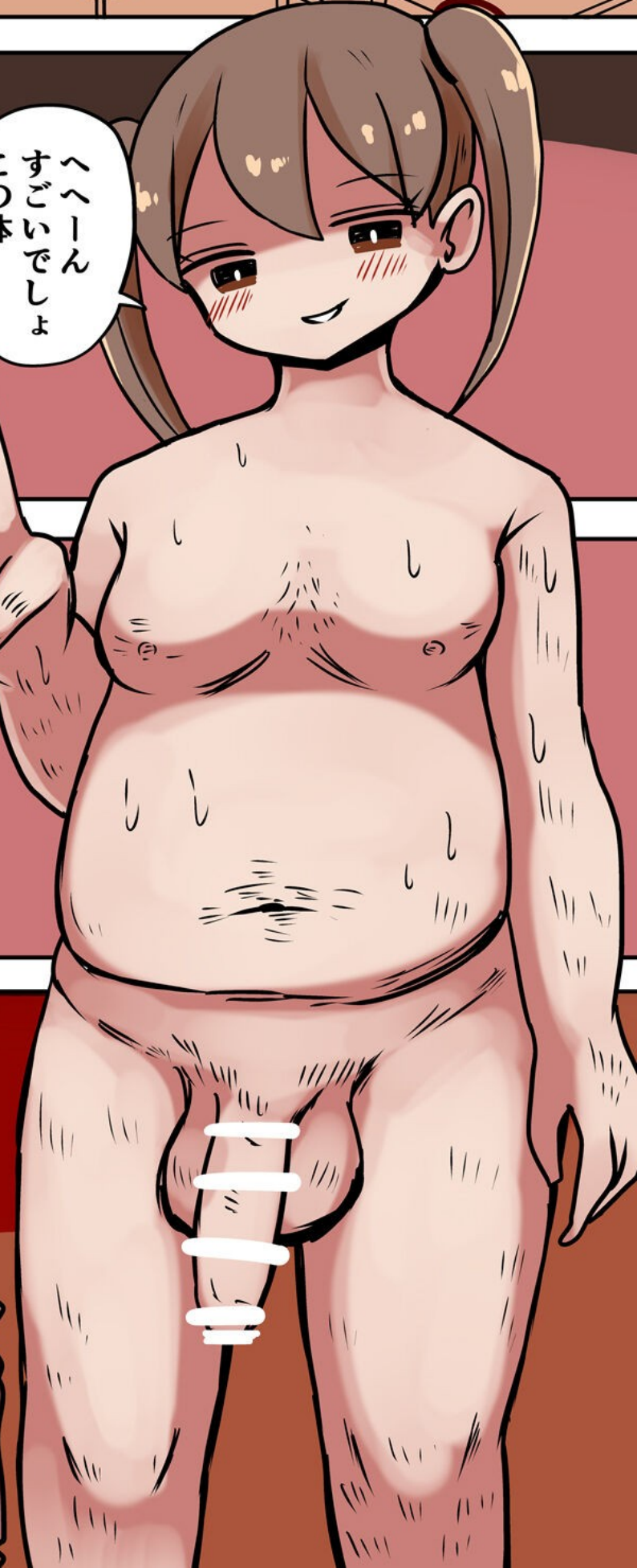
か…  
の

すごい…  
ほんものだ…

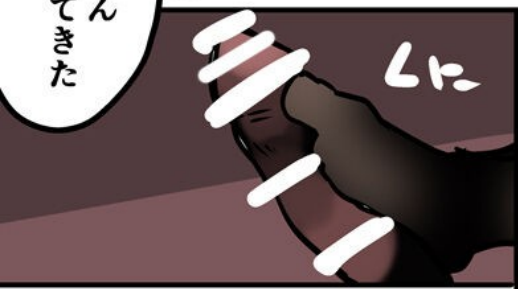


どう…??  
感じる??

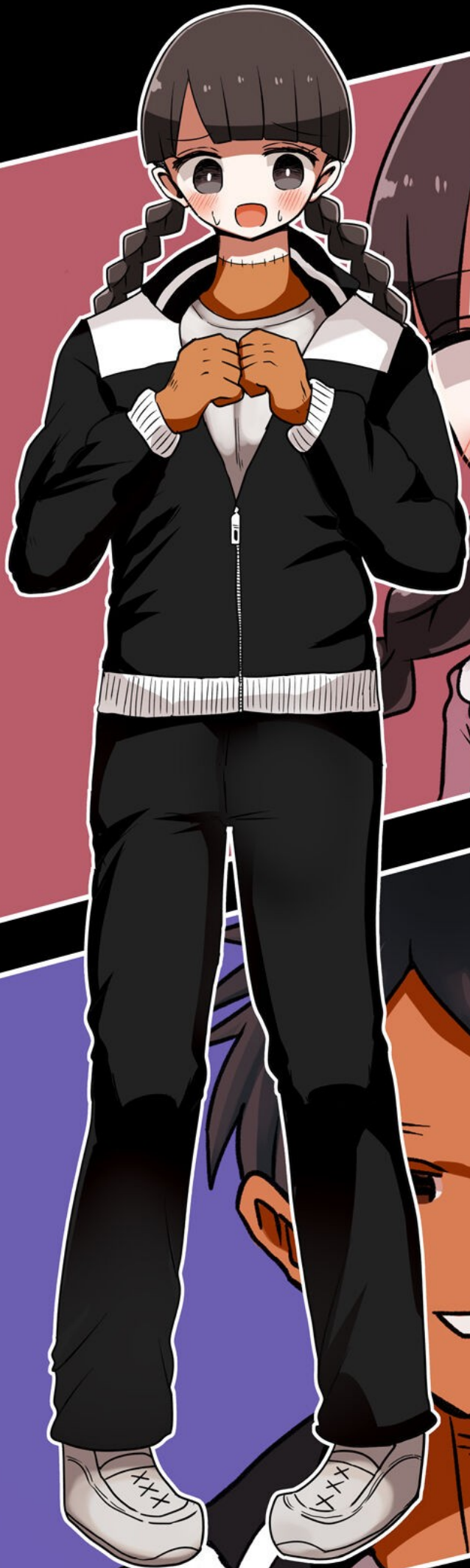
アッ

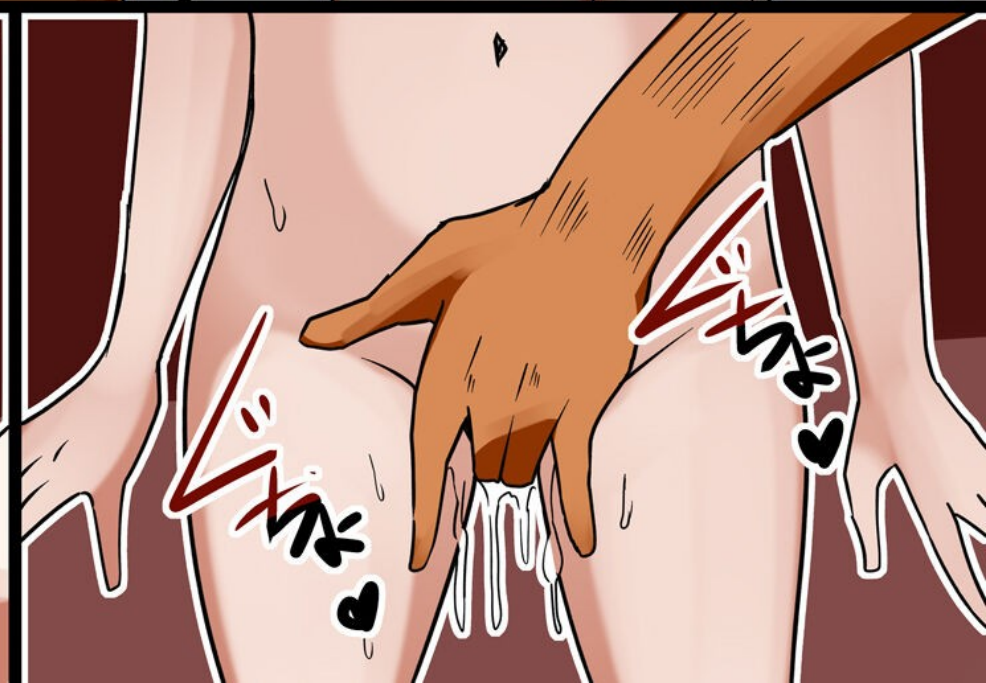


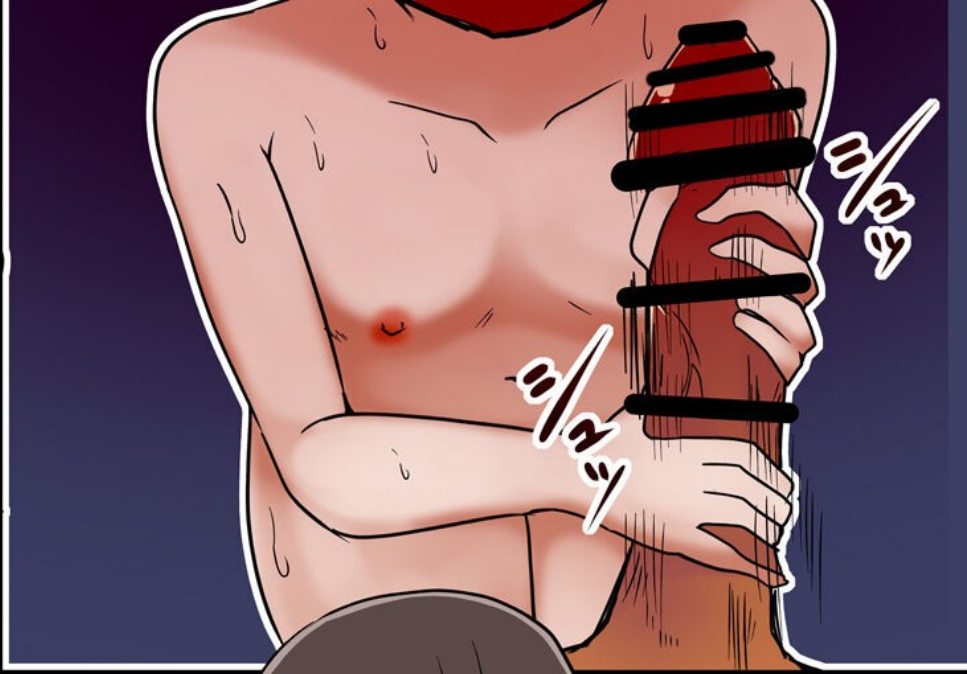


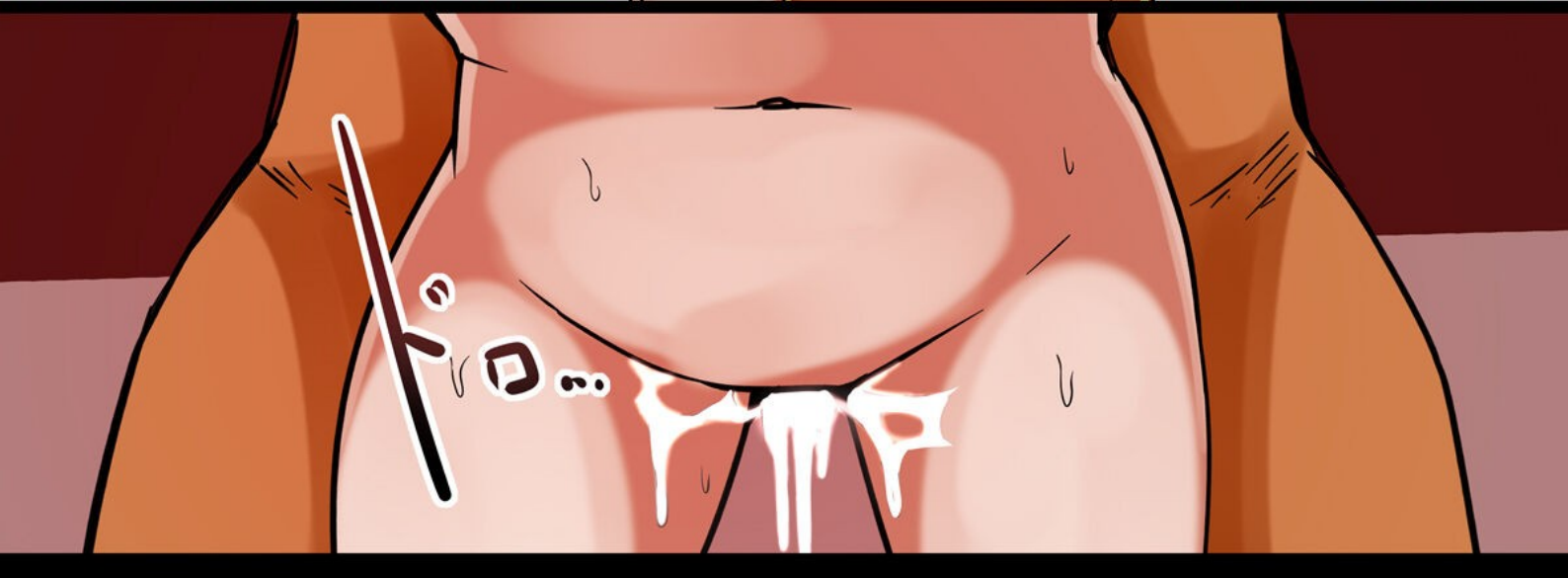












どうですか？  
新しいカラダは…

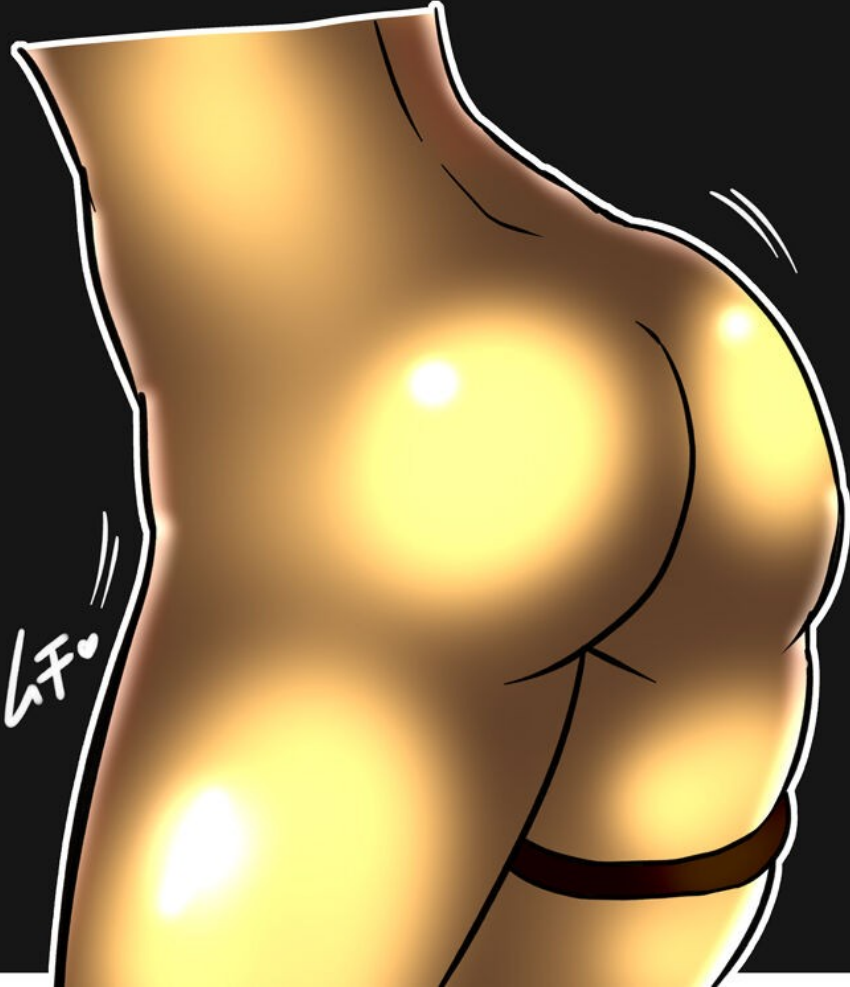
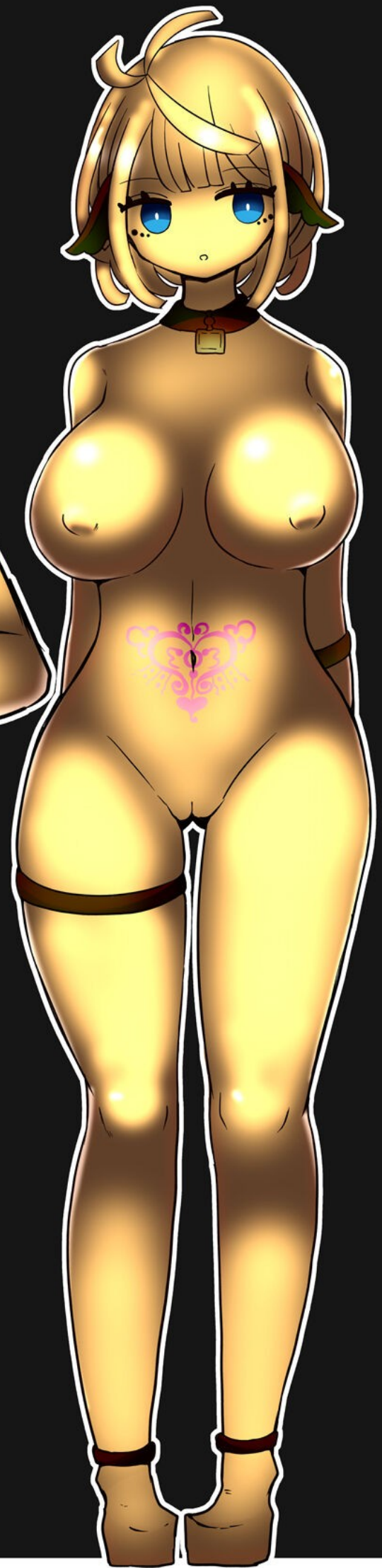
一流の造形師に  
作らせましたの

きっと勇者様が  
ニンゲンのまま  
女の子になったら…

こんな姿だったと  
思いますわ

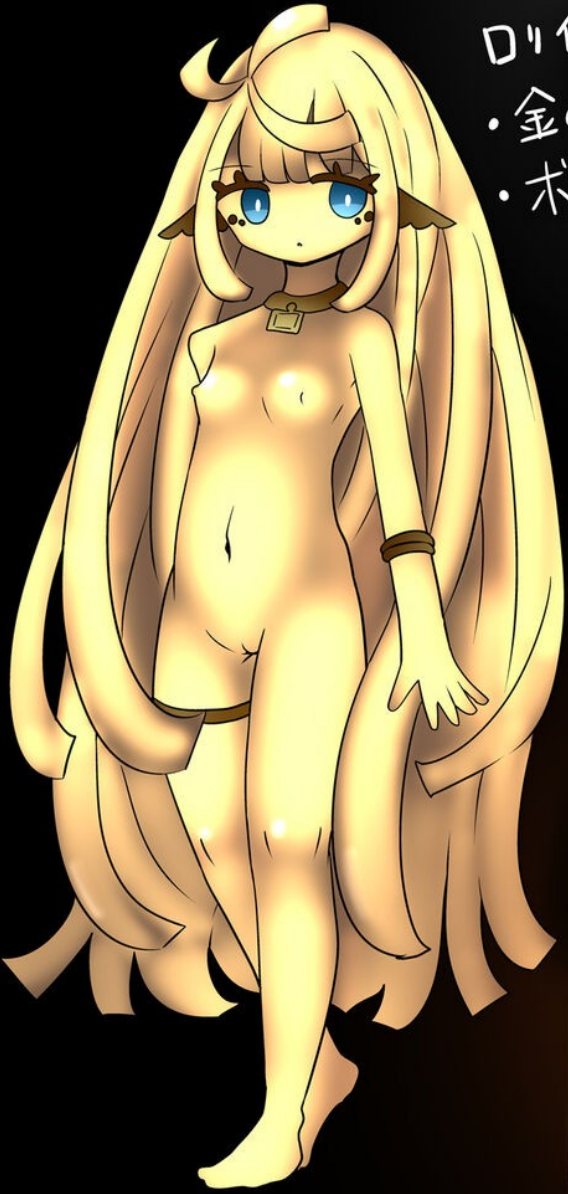
たくさんご奉仕した  
勇者様への  
ご褒美ですわ





ロリ体型

- ・金のやちらかさで変形
- ・ボディの大部分は髪に



・大型の良族とロリプレイ

・良族の子どもの  
遊ば相手にも

グラマラス体型

- ・胸にボディを  
あつめて爆乳に
- ・手足の一部を  
空洞化して  
体積を  
多くさせる



- ・大型の尻族の相手をする
- ・尻族のショウのフデオロシモ



もう  
終わりか

世界を救う者よ  
コリスよ…

まだ終わりじゃない…

俺の仲間たちは…  
きっと来てくれる…

それに…  
俺だって

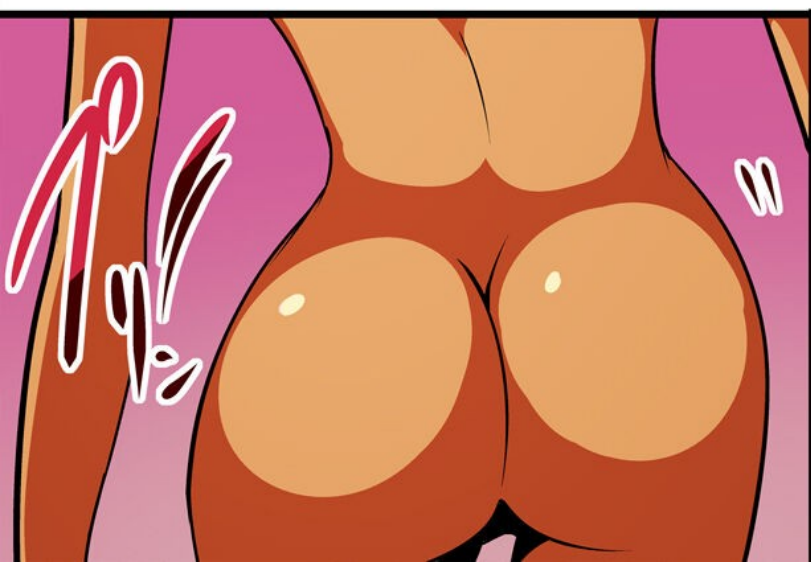
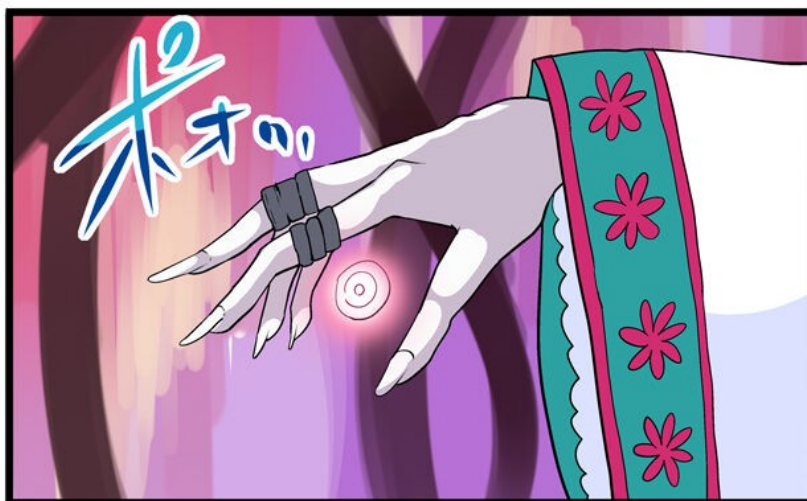
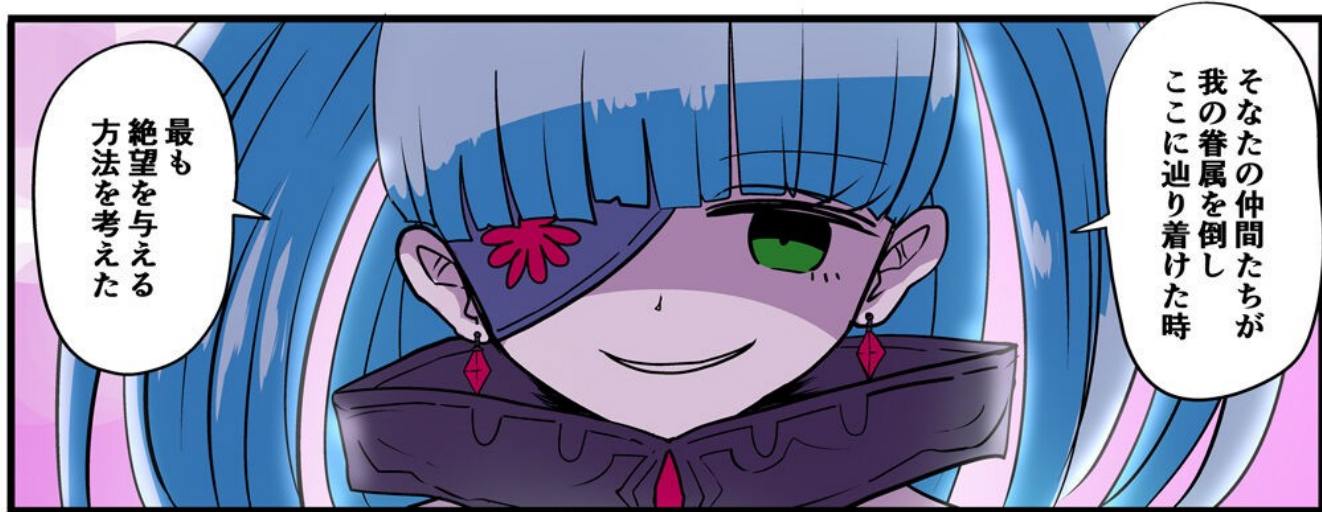


終わりだな



まだ…

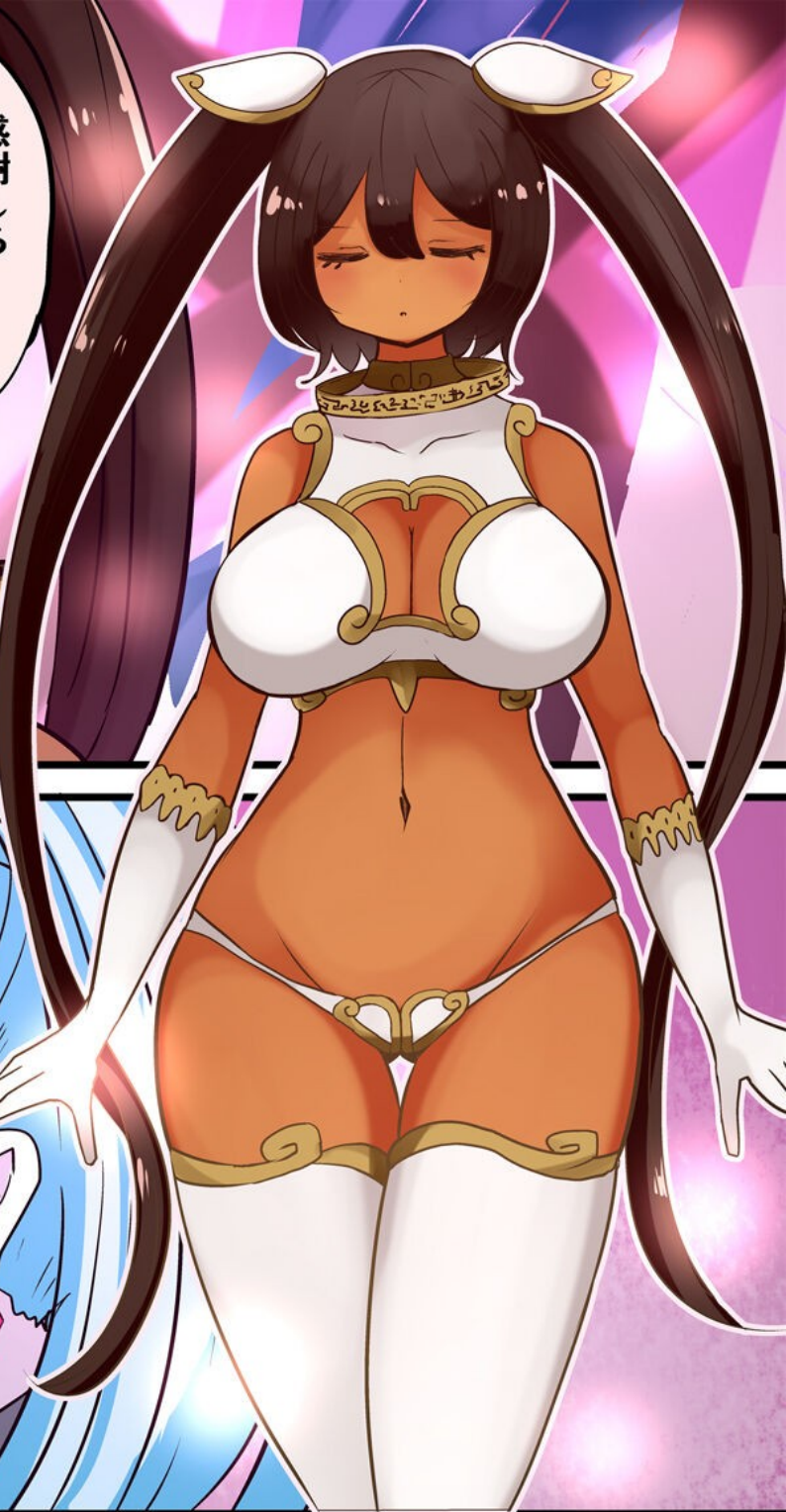
ぐっ…





感謝しろ  
その身体は  
下級な眷属の  
それではない

そなたは  
我と同じ女神



おや…  
ちようど  
そなたの  
仲間たちが  
来たようだ



馬鹿  
言うんじゃないか

嘘…



ここに  
おるではないか



女神！  
クリスはどこだ！



ふっ…  
認めざるを  
得ないようだな

お前たちの  
ヒーローは消えた!



なんだって!?

あの…女神から  
コリスのオーラを感じる…



ここにおるのは  
悪の女神  
コリーヌ!

ハハハハハ  
ひれ伏せ人間!



みんなの声が聞こえる…



姿が変わってもお前はお前だろ！

お願いコリス！目を覚まして！

みんな…

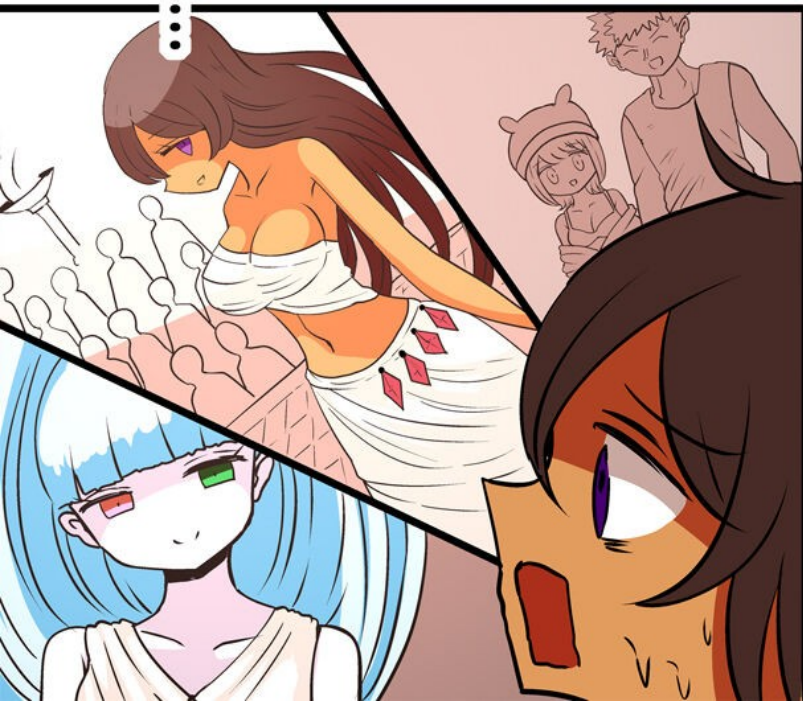


ぐ…体の制御も効かない…

なんだ…そんなこと…言っていない…

みんな…

あ…



みんな！来てくれたのか！

コリス？知らないわ私は女神コリーヌよ



かまわん

アチャ

お前の力を見せてやれ  
コリス

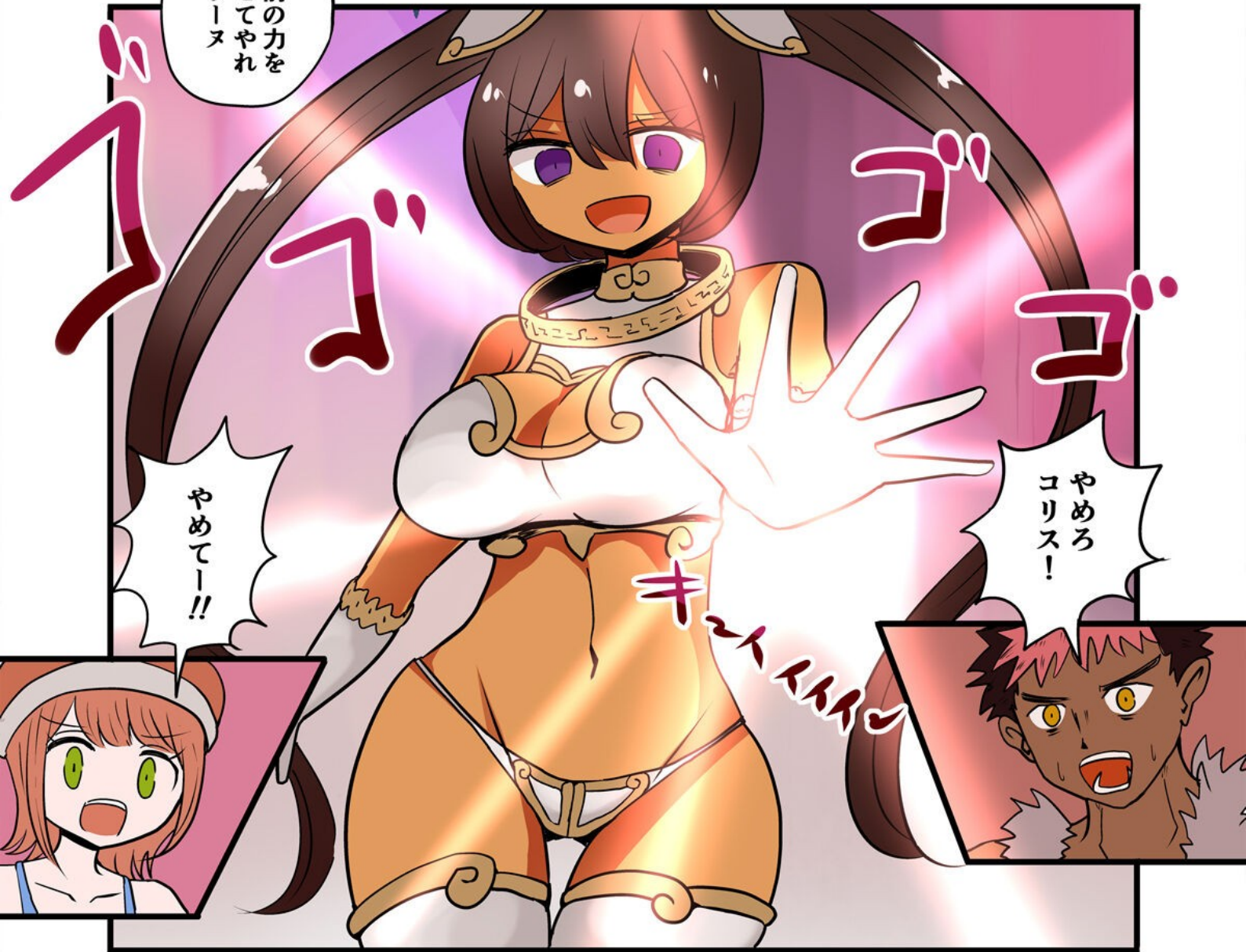


裁いて  
しまってもいいかしら

あの人間たち  
ピーピー  
うるさいわ



ふふ  
お姉さま...



ゴ  
ゴ  
ゴ

やめてー!!

やめろ  
コリス!



キラッ



うう…



あいつはもう…  
コリスじゃねえ…



ブッゴ

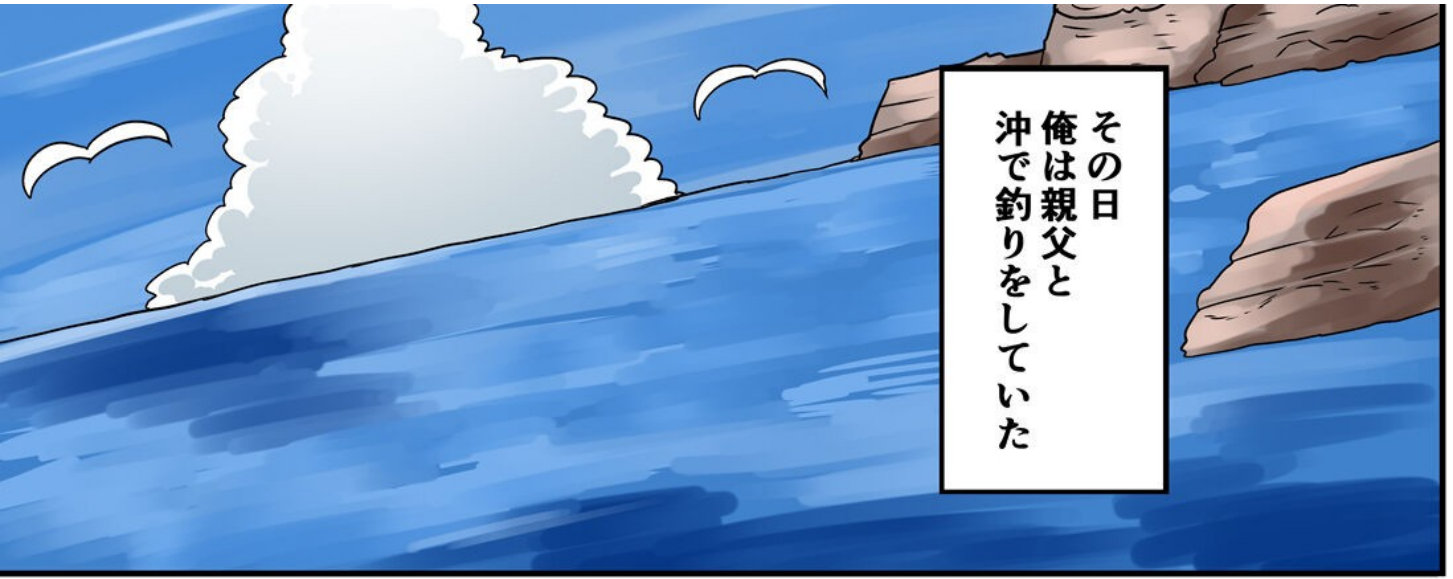
さあ  
人間共よ

ゴ

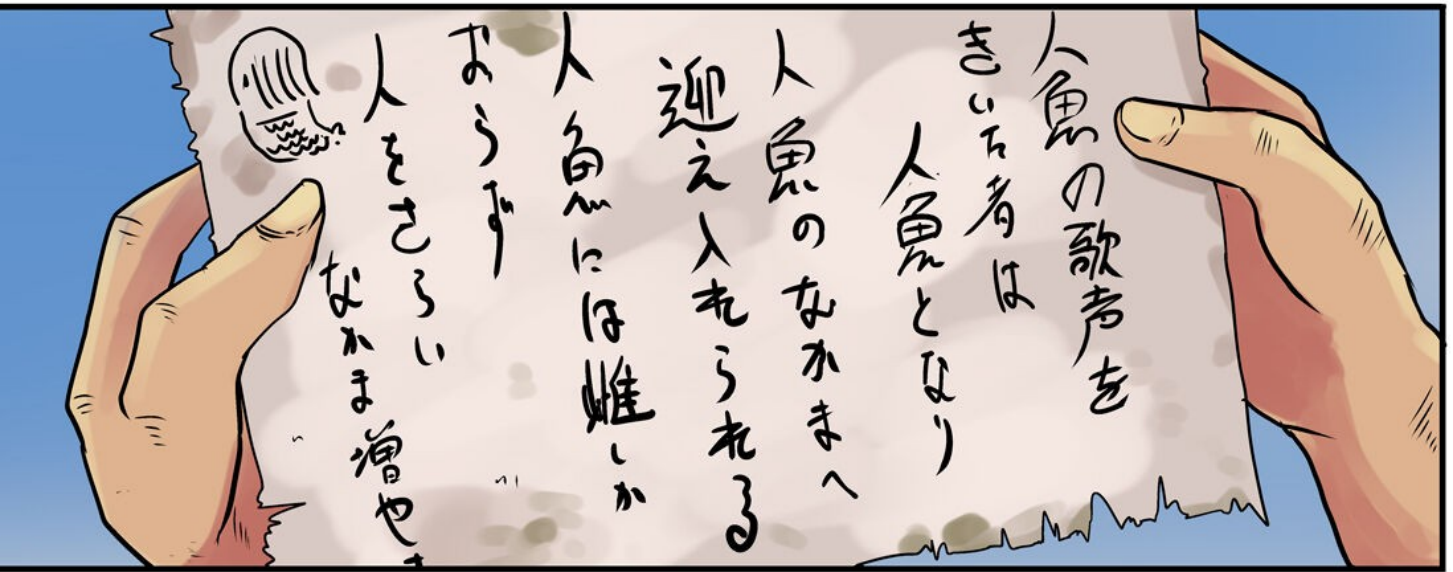
恐怖せよ  
女神の威光に

ゴ

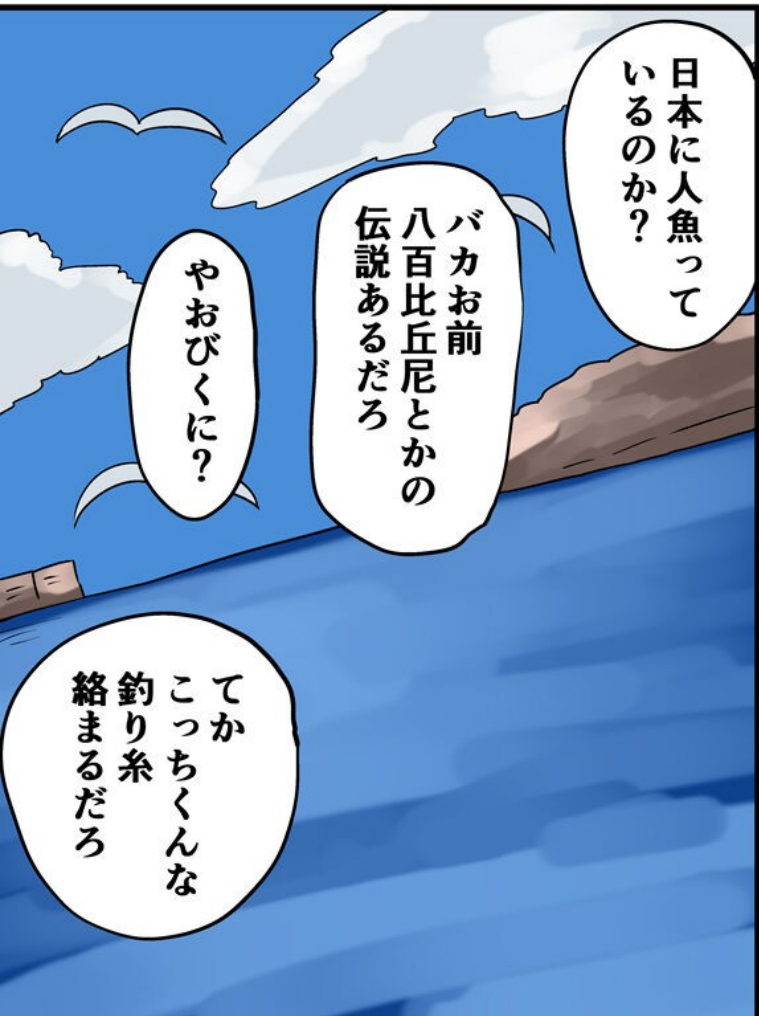
ゴ



その日  
俺は親父と  
沖で釣りをしていた



人魚の歌を  
きいた者は  
人魚となり  
人魚のなまへ  
迎え入れられ  
人魚には姓しか  
おろし  
人をさらい  
なまへ増や



日本に人魚って  
いるのか？

バカお前  
八百比丘尼とかの  
伝説あるだろ

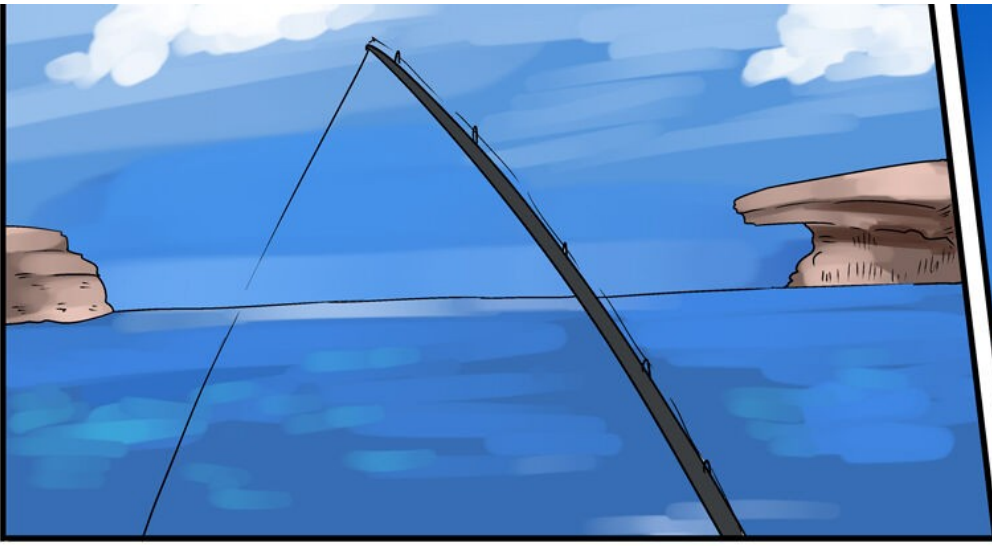
やおびくに？

てか  
こっちくん  
釣り糸  
絡まるだろ



拾った  
瓶に入ってた

なにそれ





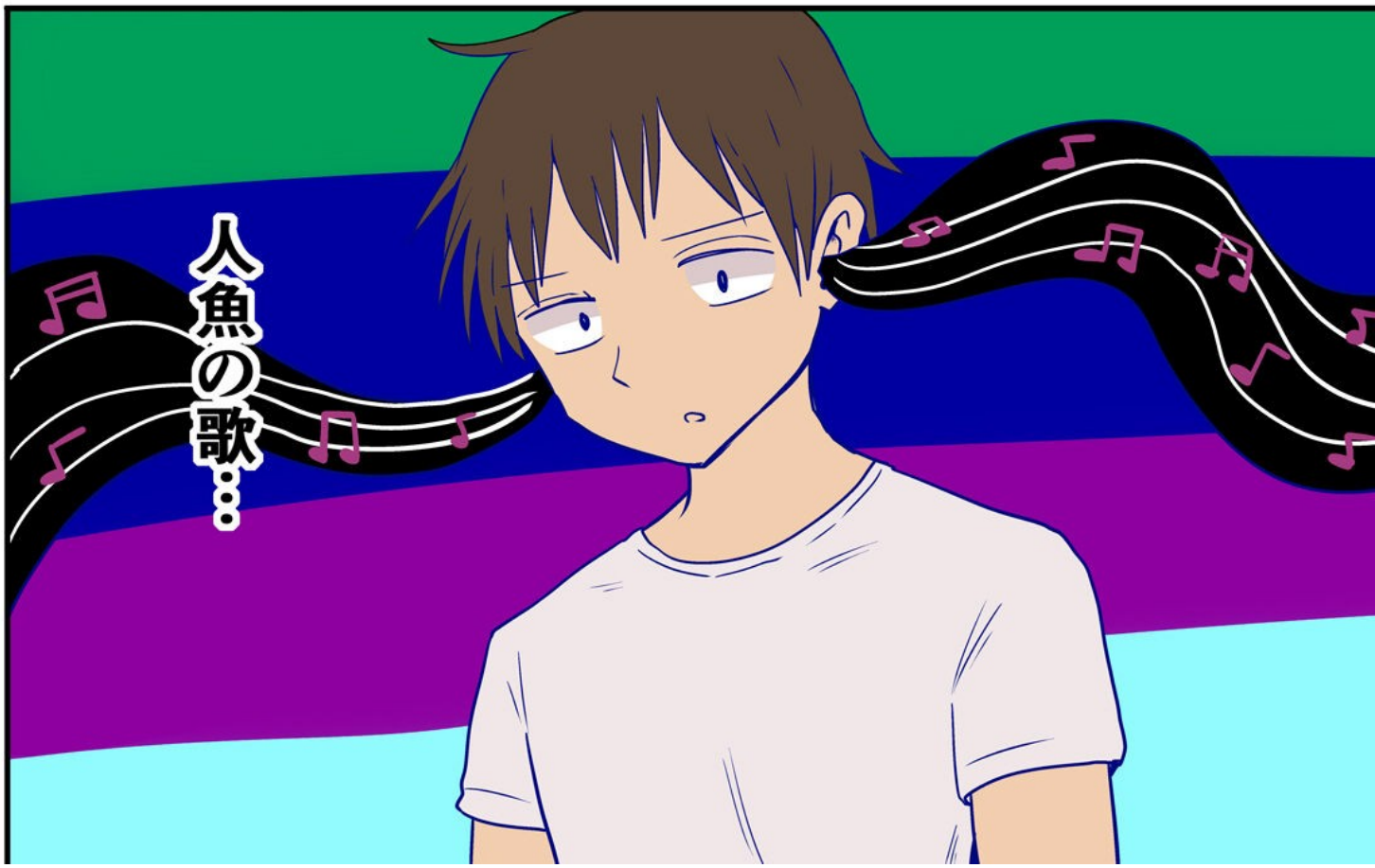


なんか  
言ってる...?!

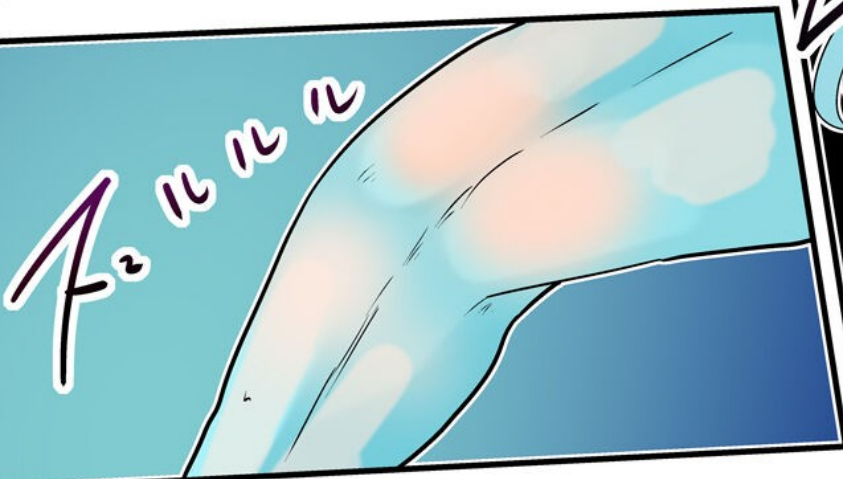
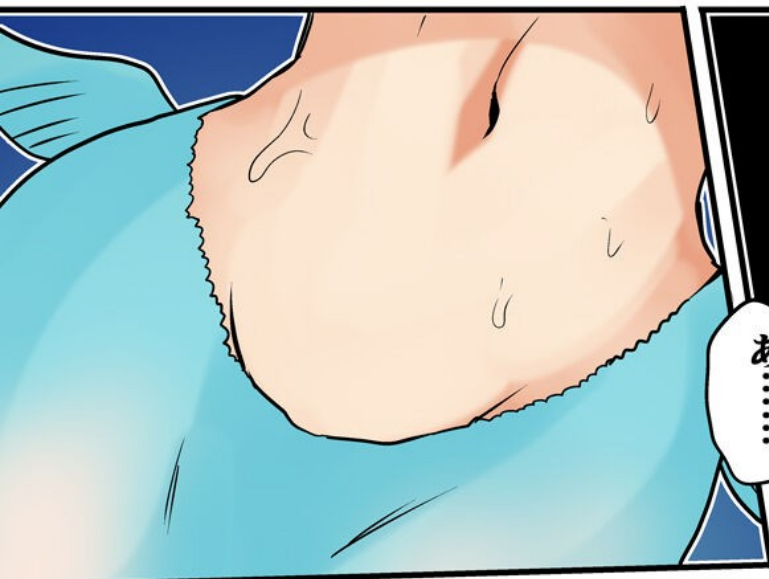
人魚...!?



バカ!  
外すなイヤホン!



人魚の歌...





だめだ  
苦しい

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

俺は…今  
どうなってる…?

人魚になってるんだろな…

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



海の中...!?

んんは...



船の上にといたら  
なんだか苦しく  
なってきたもんでな

お前を連れて  
海に飛び込んだって  
寸法よ

どうやら  
俺たちは人魚姫に  
なっちまったようだぜ

まさかあの古文書が  
本物だったとはな



まさか  
親父か…？

そうだ…

なんでおっぱい  
まるだしなんだ？

エロいことしてた？

してねーよ！  
なんか気持ち悪いから  
脱いだんだよ



お前も脱いだほうが  
いいぞ

どうやら人魚に  
人間の服は合わないらしい

そうなんだ…



俺…男なのになあ



…おっぱい  
まるだしだと  
そわそわするな…

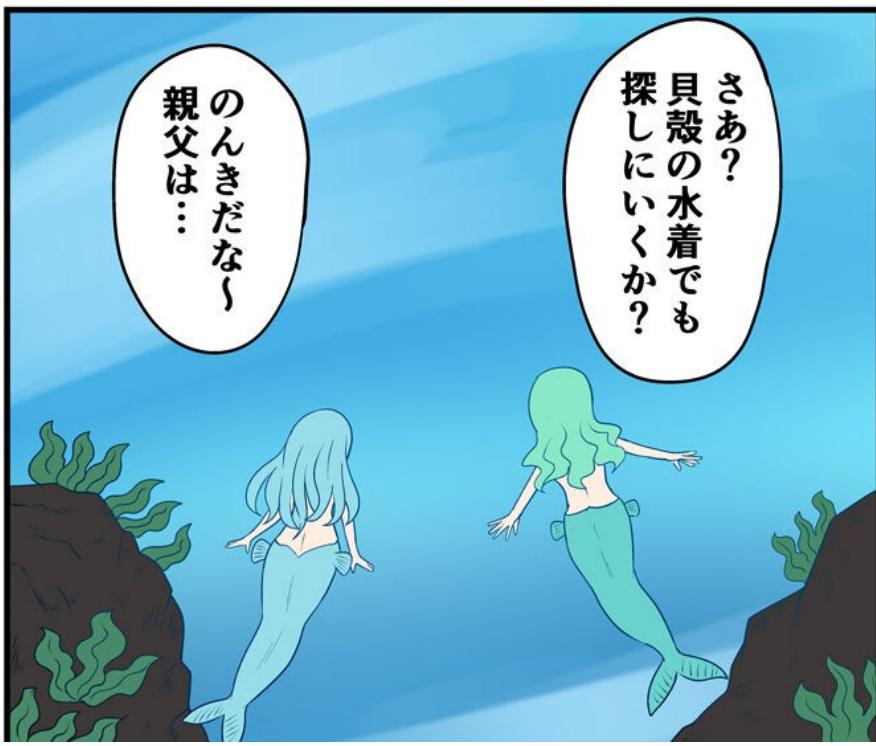


仕方ねえよ  
その乳じゃな

ちよつと  
揉ませてくれよ

きしよいこと  
言うな!

わきわき



のんきだな  
親父は…

さあ?  
貝殻の水着でも  
探しにいくか?

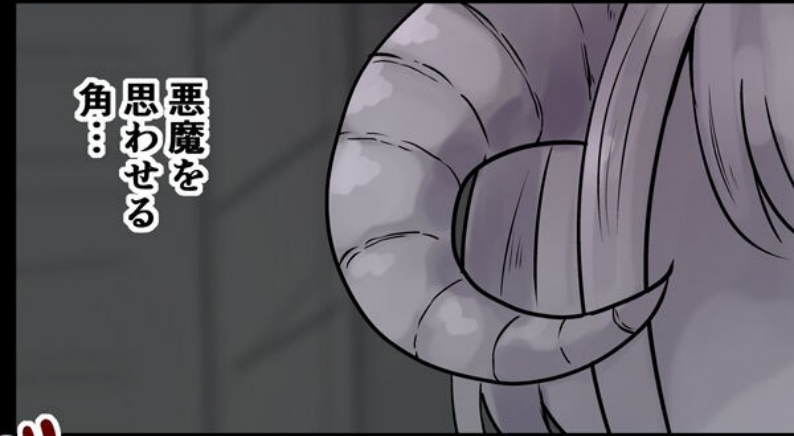


俺たち…  
これから  
どうなるんだろう





そして  
邪悪な羽根…



悪魔を  
思わせる  
角…



しかし…ほんとに  
彼女を彫ったのか？  
この像は…



ゴクッ…



聖女のごとき  
美しい女性の  
レリーフ…  
おおよそ  
相応しくない…



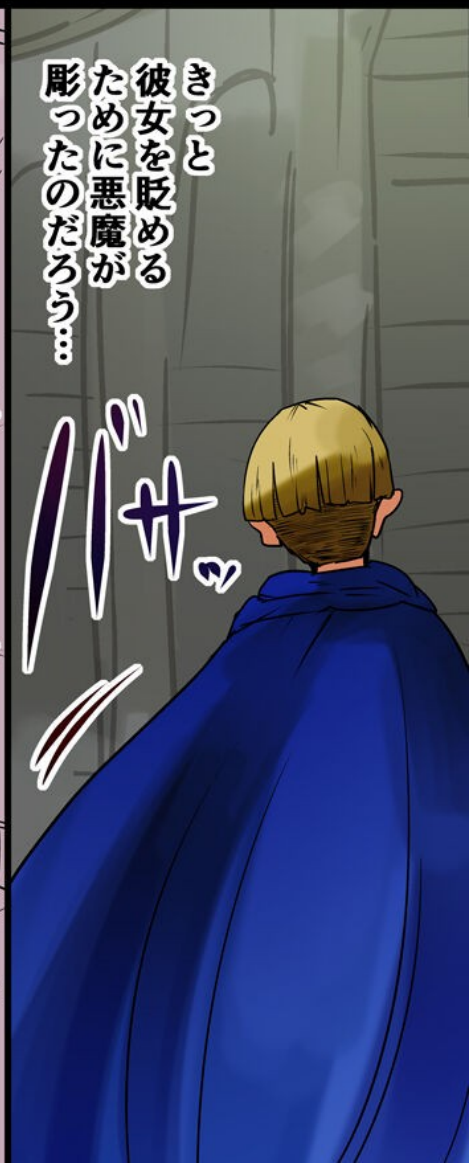
誰かに  
つけられている



カッン

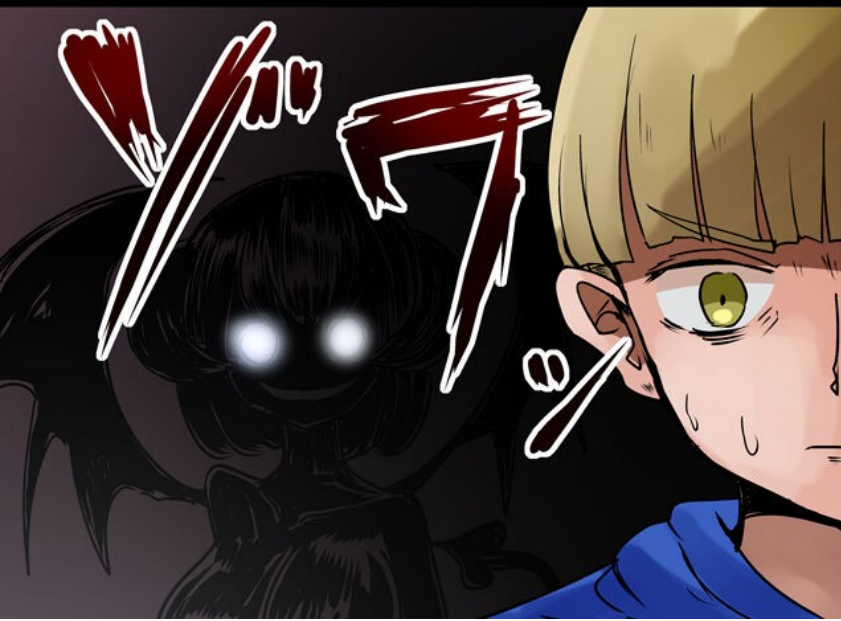
カッン

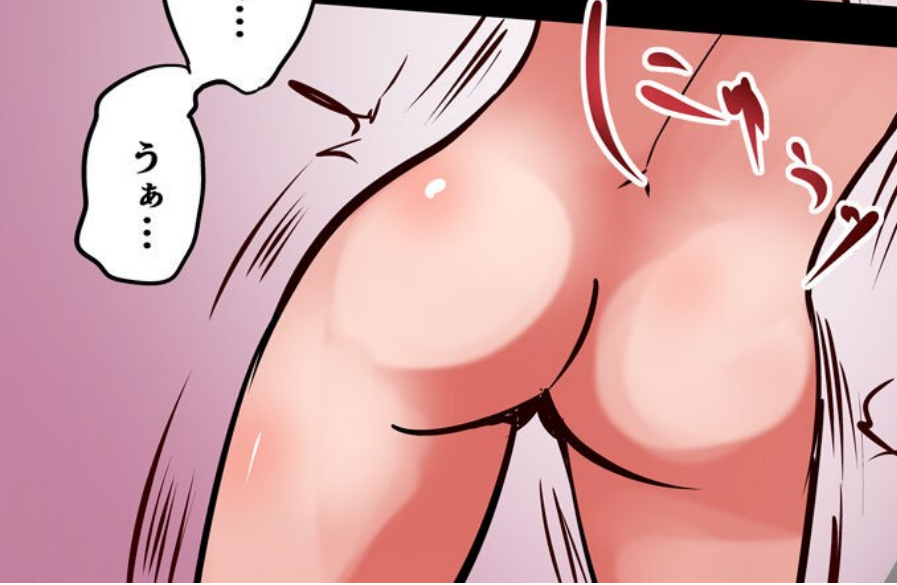
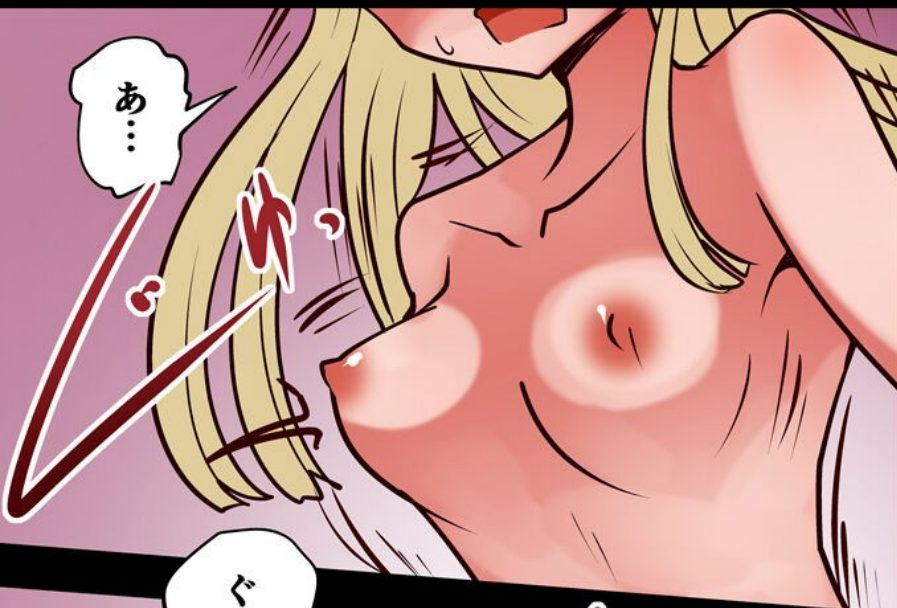
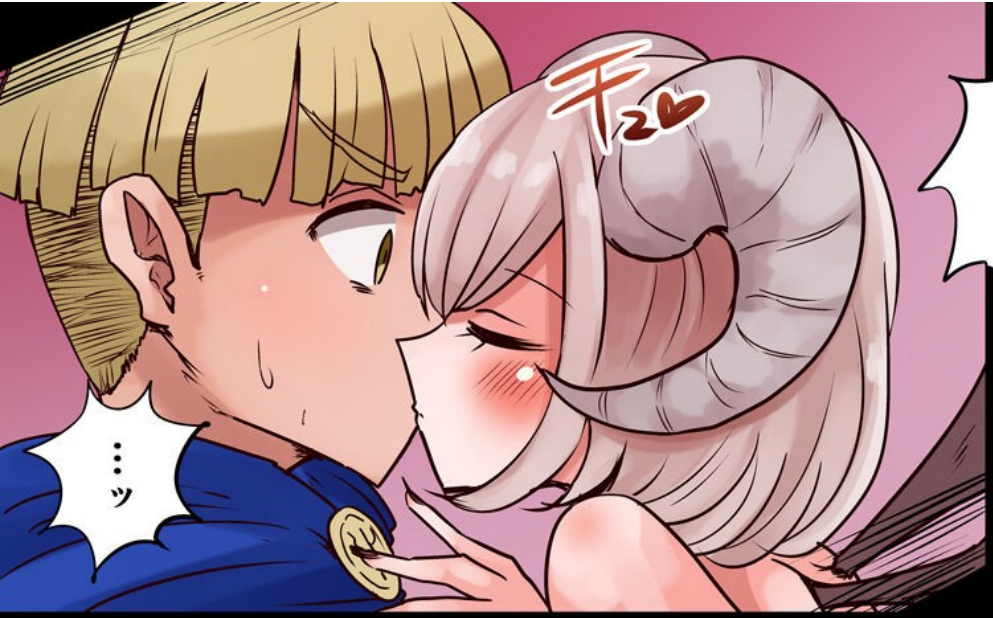
カッン



きっと  
彼女を貶める  
ために悪魔が  
彫ったのだろう…

バサッ







さっきの石像…？

はあはあ…淫魔の魔法か…？

やめっ…

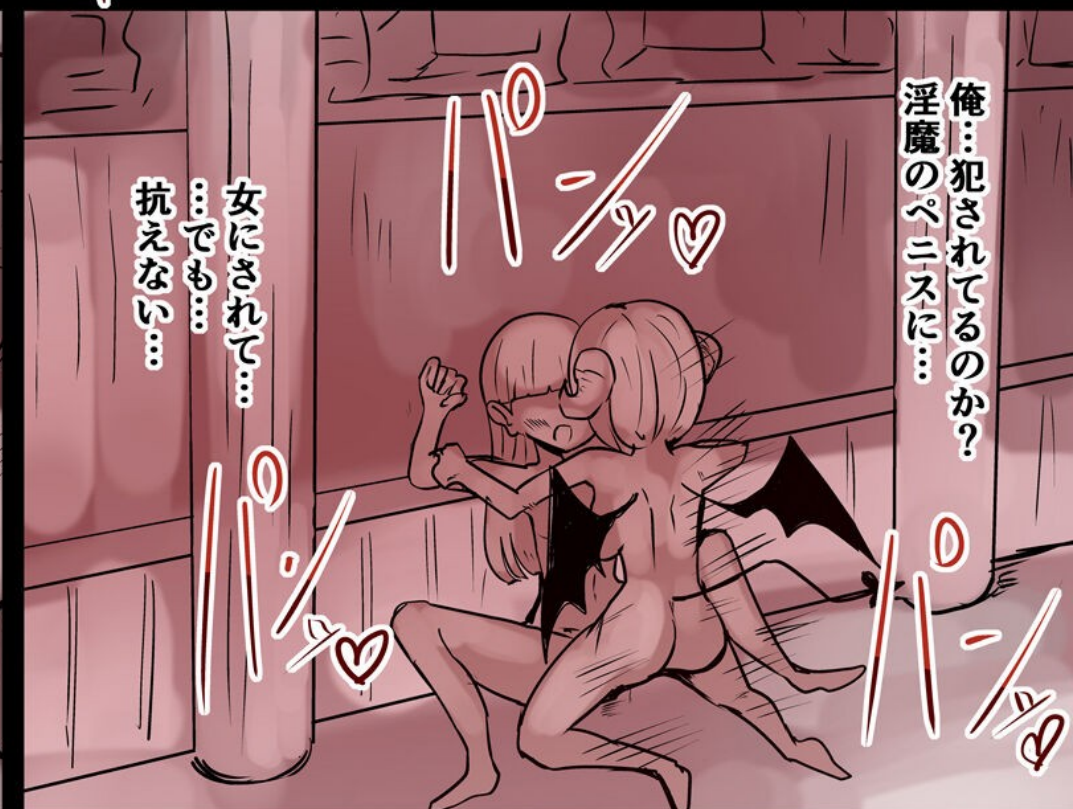
離せ…！

ふっふっ…

力が出せない…

ああッ…

ひ…







勇者..  
やめちゃうっても...

SSSS...

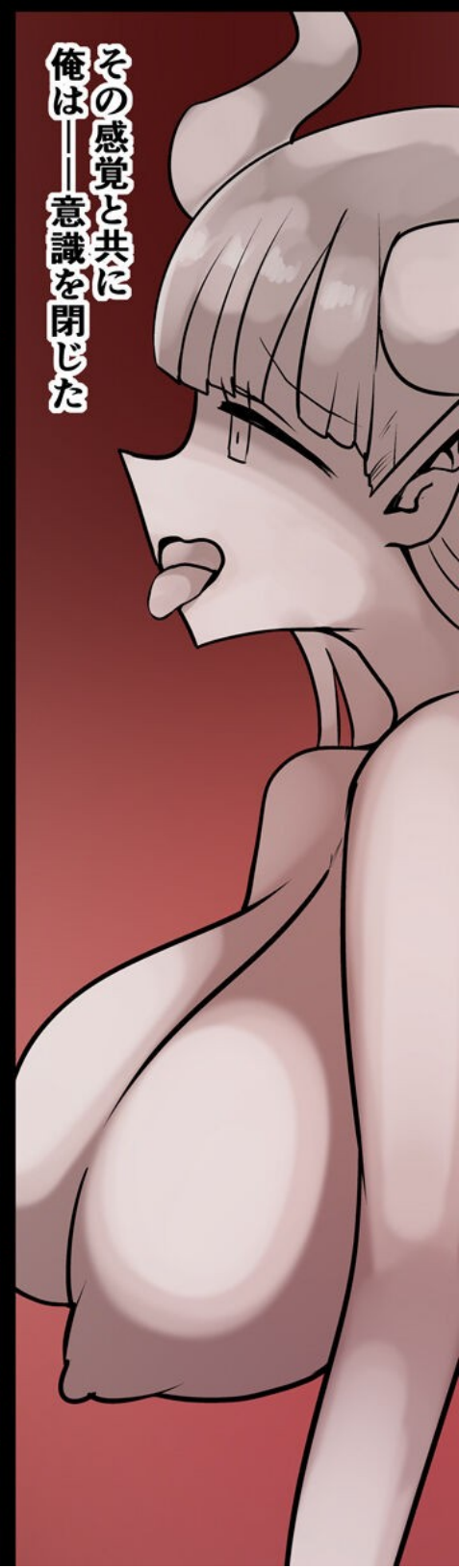
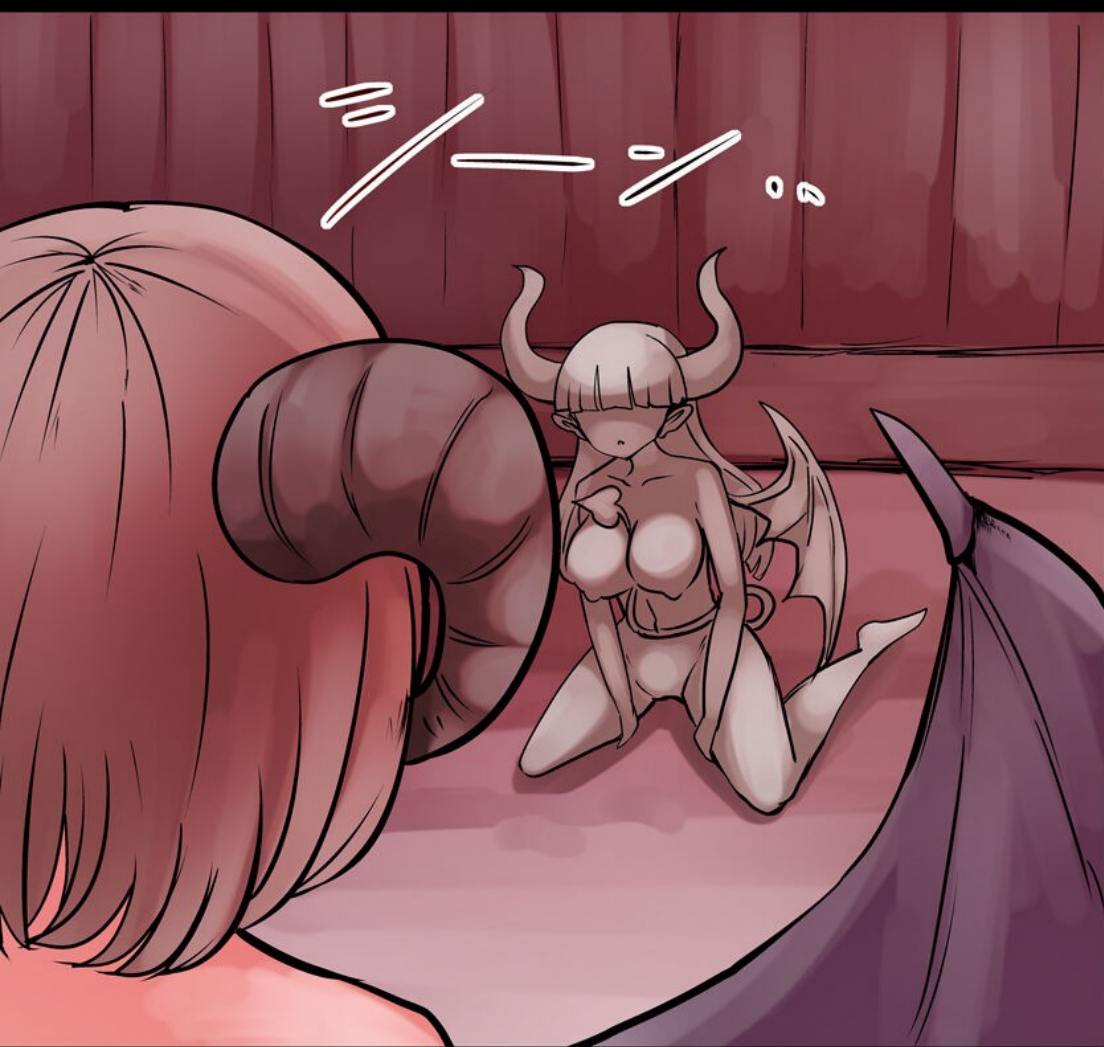


だって...

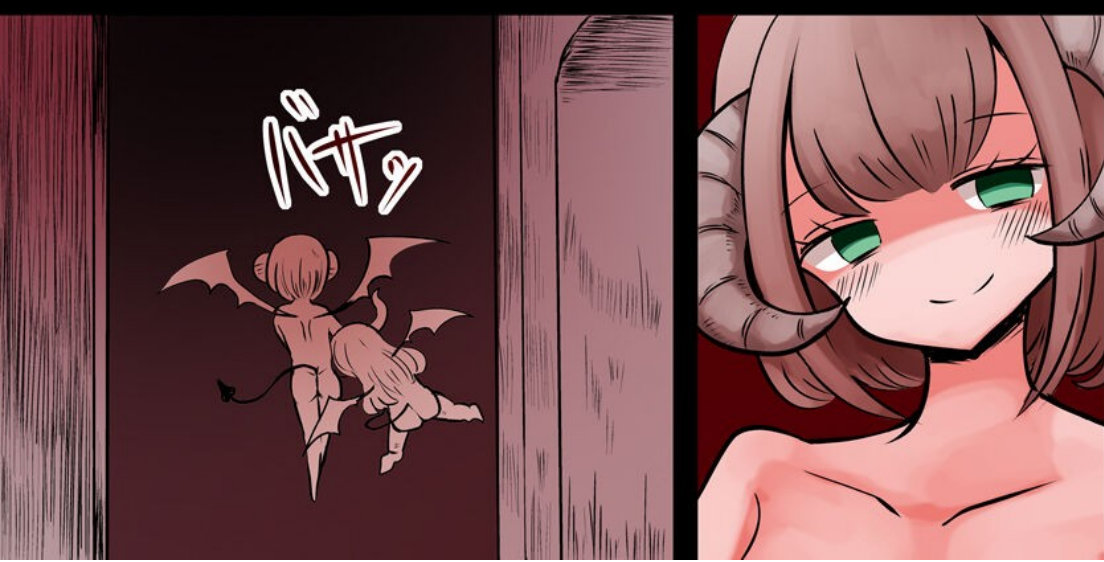
気持ちよすぎから...

うん

がらん



その感覚と共に  
俺は——意識を閉じた



アタマが...



というわけで  
なにかアイテムを  
貸してくれ

僕は探偵

今回の仕事のために  
変装が必要だ

彼女は  
不思議な道具屋

不思議アイテムを  
多数取り扱っている

それならこの  
「魔法のパイプ」は  
どうですか？

どれどれ…  
使ってみても？

どうぞー

ゴッソ

シュポッ

モク

モク

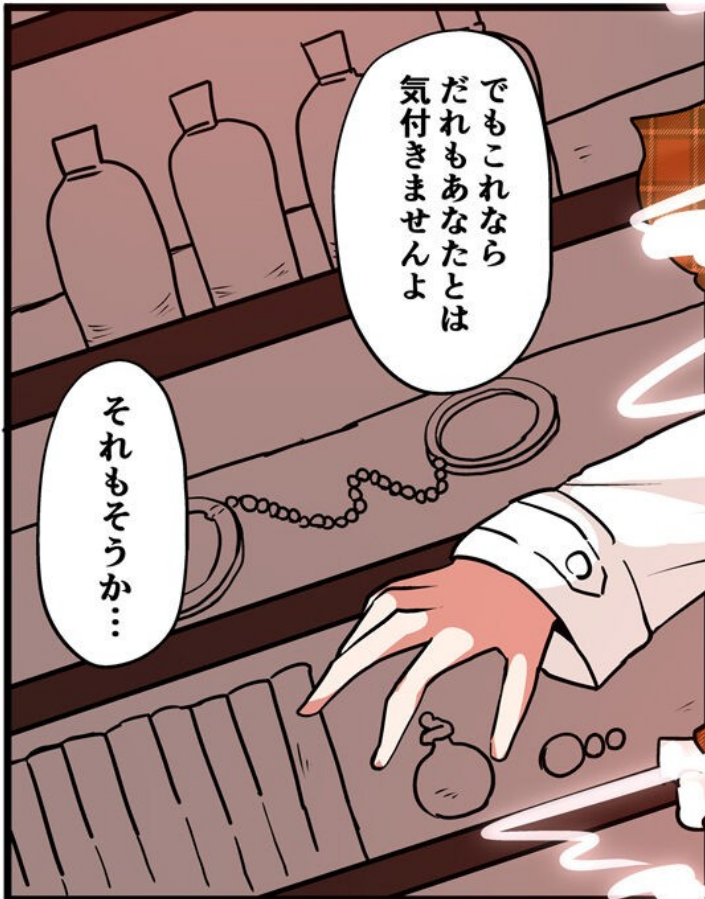


完璧な変装  
じゃないですか

性別まで  
変わってるじゃないか!



って…  
なんだこれは!?



でもこれなら  
だれもあなたとは  
気付きませんよ

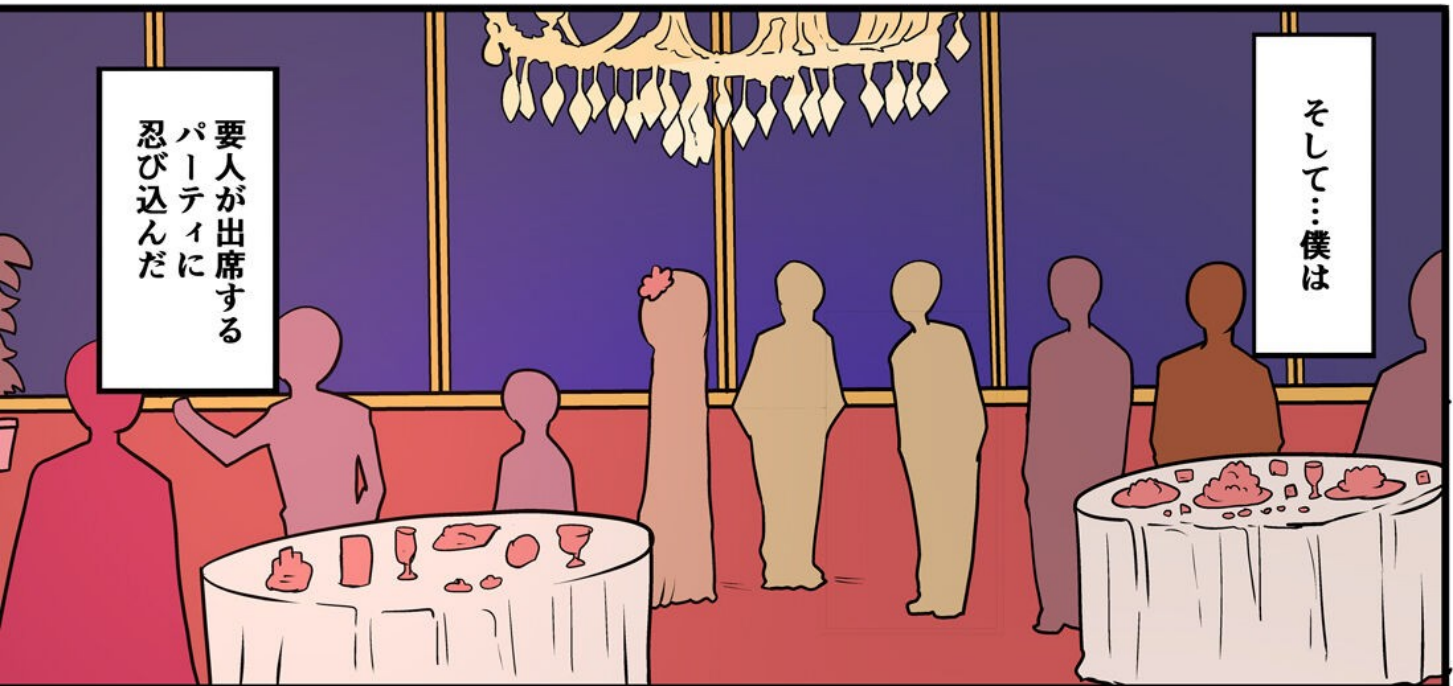
それもそうか…



多少の女性の心得を  
学び…



それから僕は  
要人に近づくため



要人が出席する  
パーティーに  
忍び込んだ

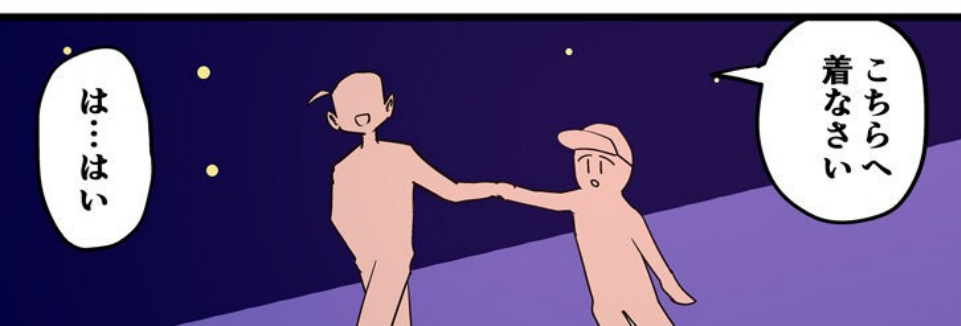
そして…僕は



そんなに  
美しいのに  
着飾らないなんて  
もったいない



その君…



こちらへ  
着なさい

は…はい



わあああ〜…

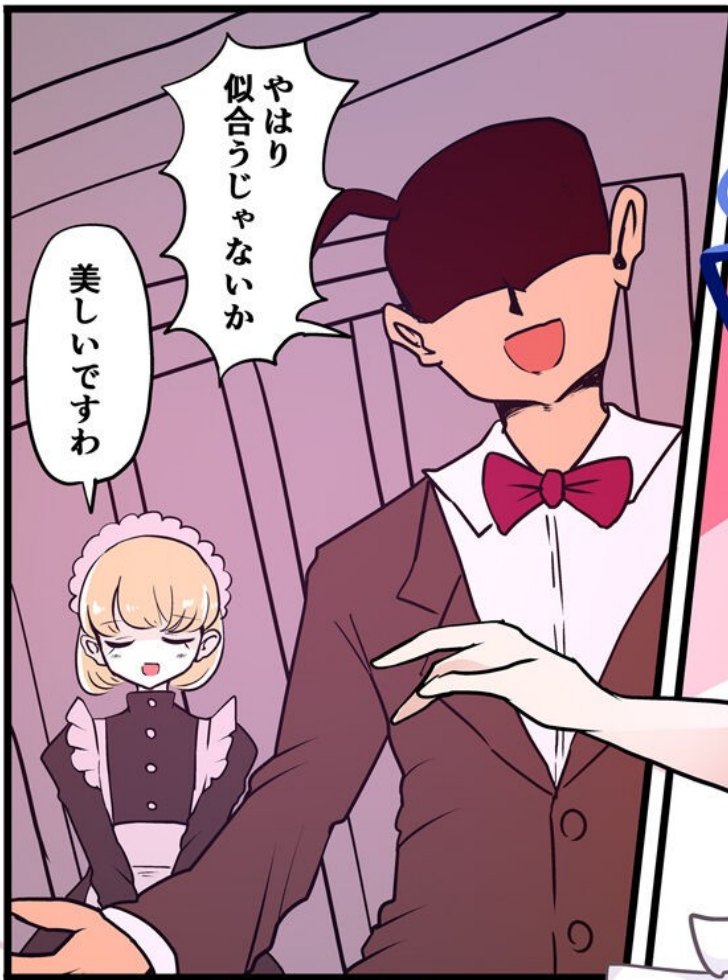


へ…

さあ…  
お着替えを  
お手伝いしますわ



なんだか  
よくわからないけど  
近づくことが  
できたぞ…



やはり  
似合うじゃないか

美しいですわ



それに…  
褒められるのは  
正直悪くない…

それから…  
任務のため

ターゲットである  
彼と行動してきた

彼の要求も  
ほどほどに

信頼関係を  
築いていったが

いつからか  
女として  
愛されることを  
望むようになって



ってのは嘘  
♥

アッー♥  
アッー♥

ピロ

そうとう  
絞り取っちゃった  
もんね

ふふ…疲れて  
寝ちゃったか

激しいセックスの後  
完全に隙だらけになった  
彼の部屋を調べ尽くした

ガゴソ

見つけたよ

彼は素敵な人だったけど…

仕事は  
仕事なんだよね



おい…  
見ろよ

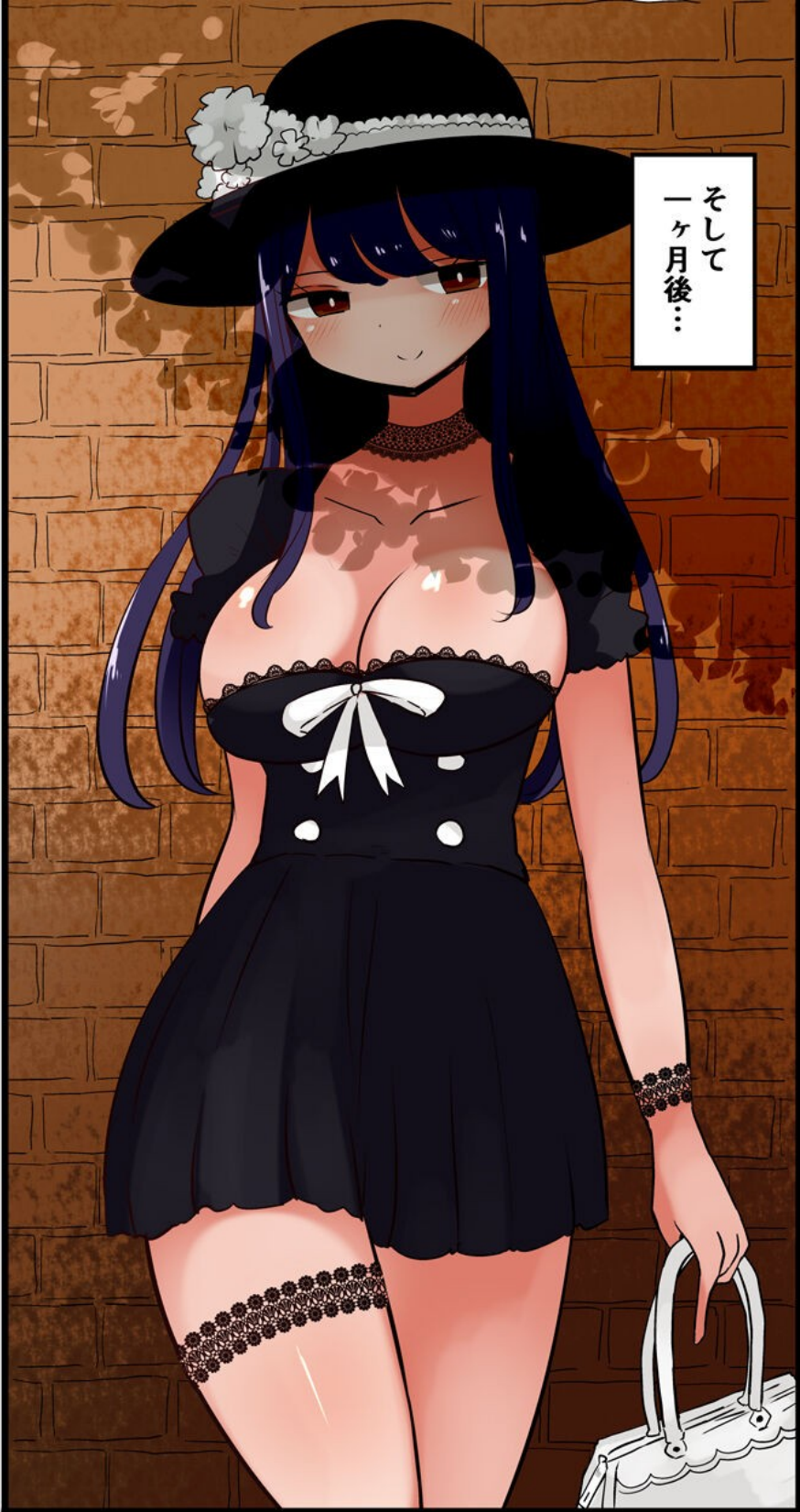
うわ  
すっげー  
美人



あの…  
探偵さんの  
助手さんですか…?  
ニニで待たせろわせ  
なんですけど

ふふ…  
お久しぶりですね  
私が探偵ですよ

!?!



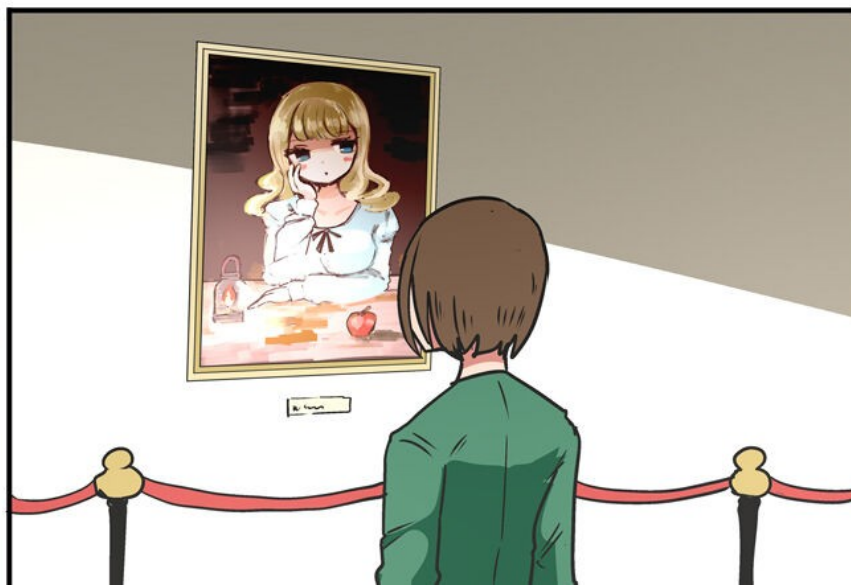
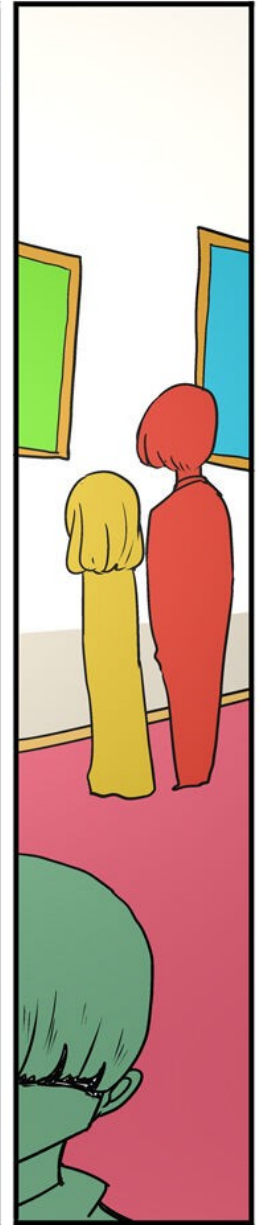
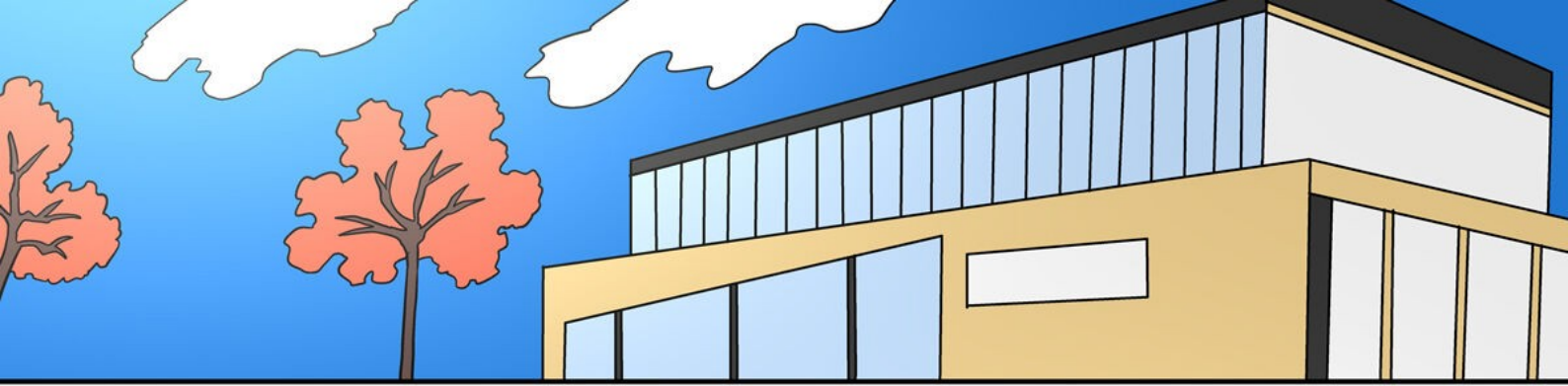
そして  
一ヶ月後…

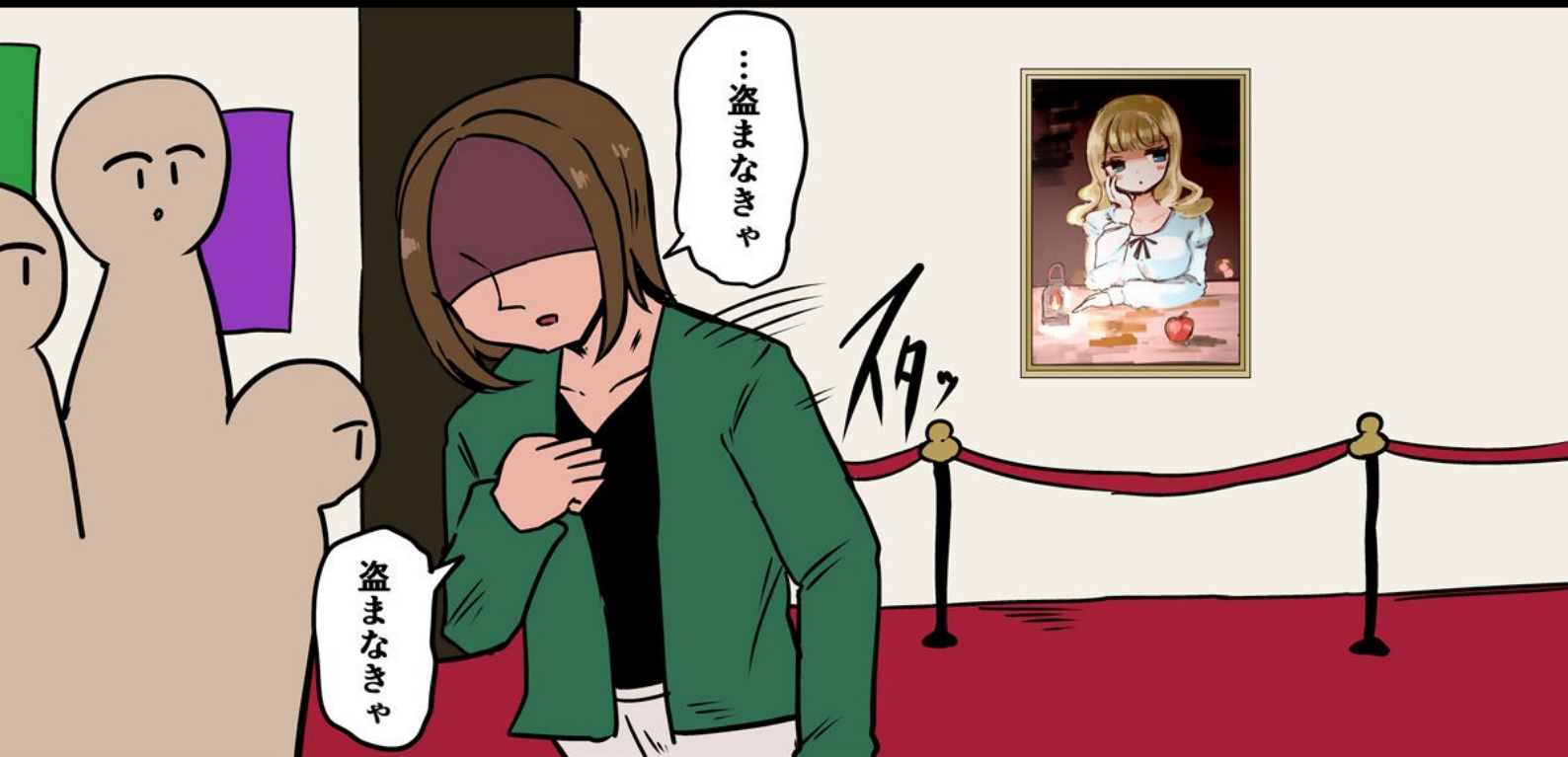
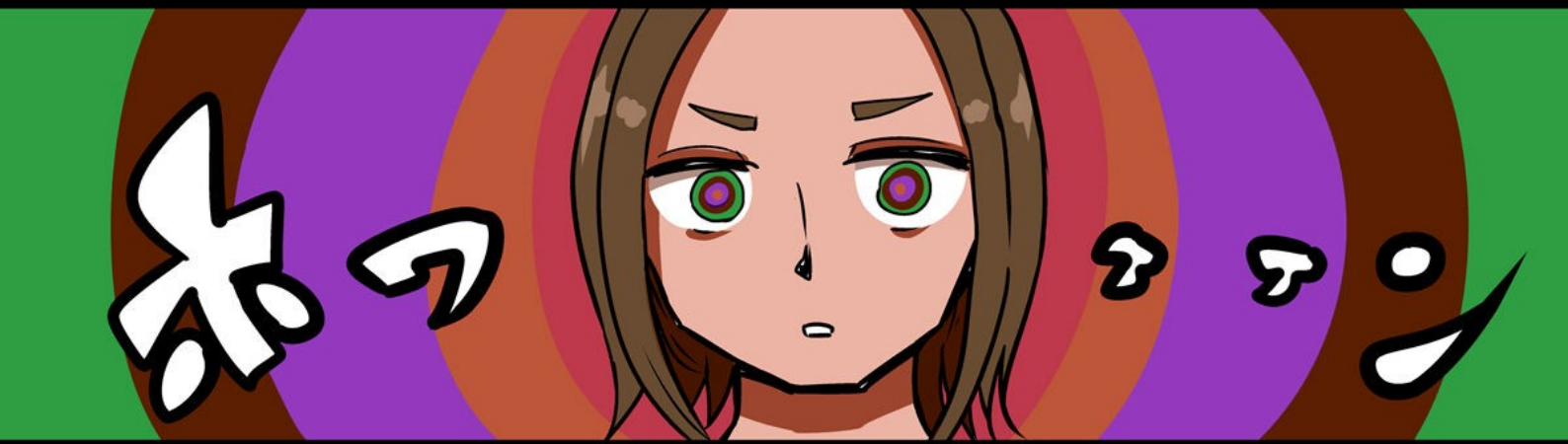


男性でしたよね!?

変装です♪

僕は  
美少女探偵と  
なったのであった







ガタッ



ふふ  
新しい家を  
探してあげる♡



成功♪



うーん  
変身魔法が  
うまくいかねえ

仕方ないなあ  
僕が変身魔法の  
手本を見せてやるよ



いやお前が  
女装しただけに  
なっただけぞ

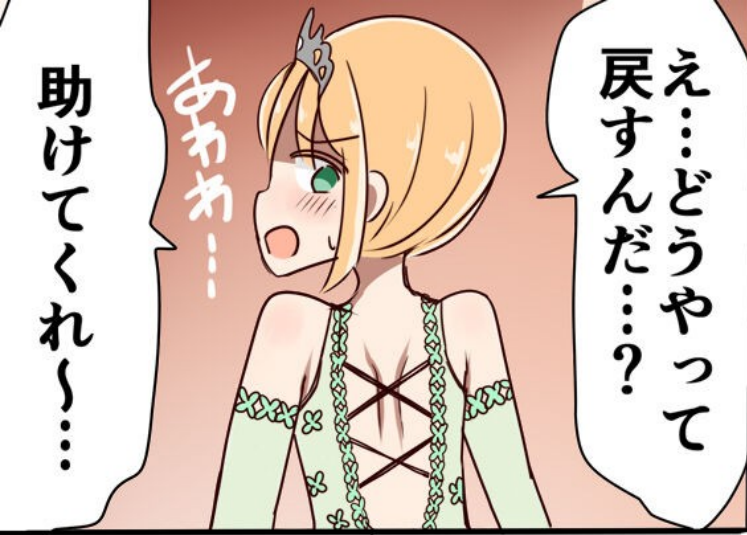


そうだな  
この国の姫様に  
するか



しめしめ  
成功したようだ







はあ!?!  
ドレスのスカートは  
そんなに短くないだろ!



姫様の胸…  
もそんな  
大きくないし!



ホイ!

おっ…  
成功じゃね?

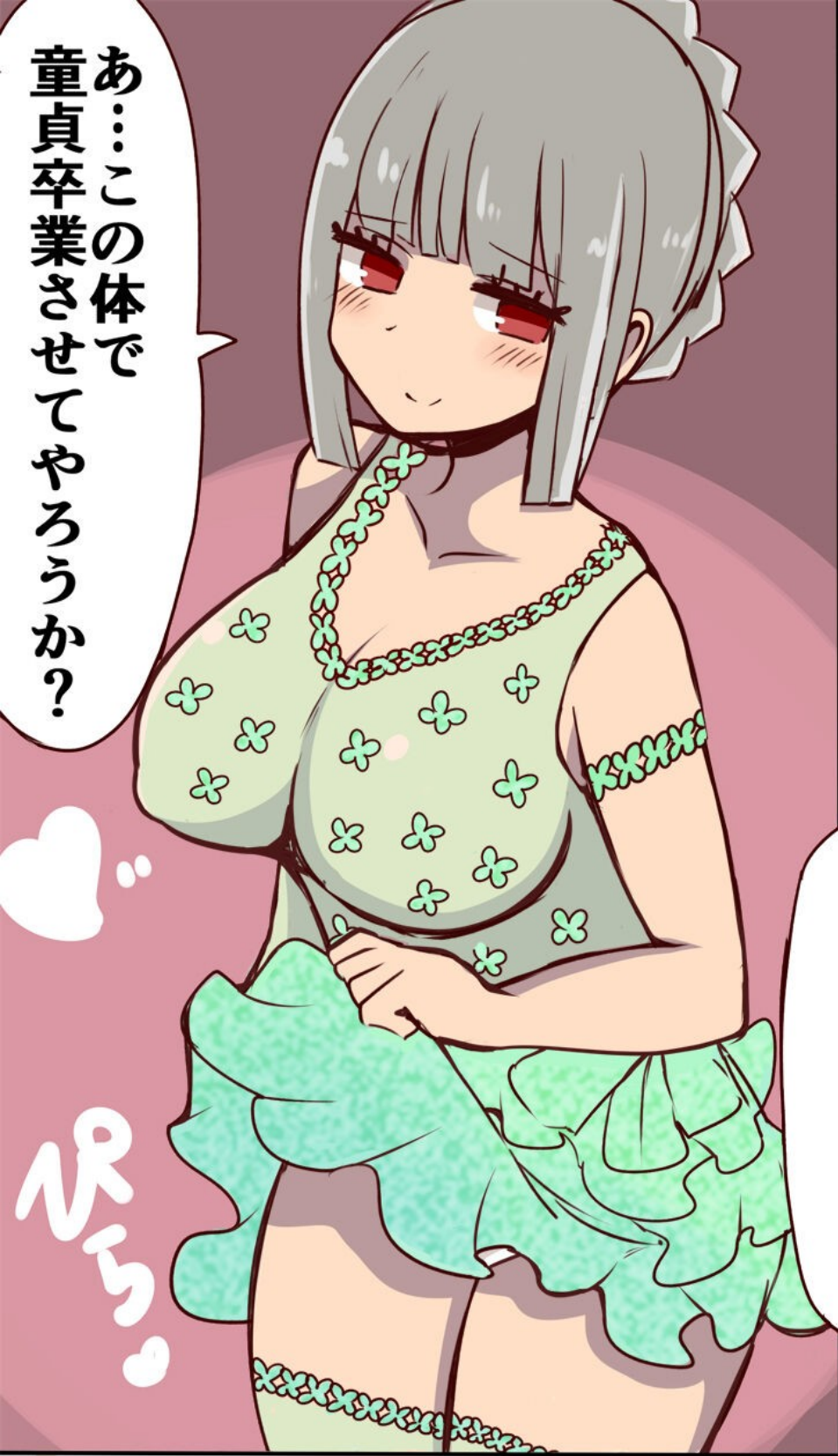


お前は姫様の女体を  
イメージできなかった  
そういうことだろ?



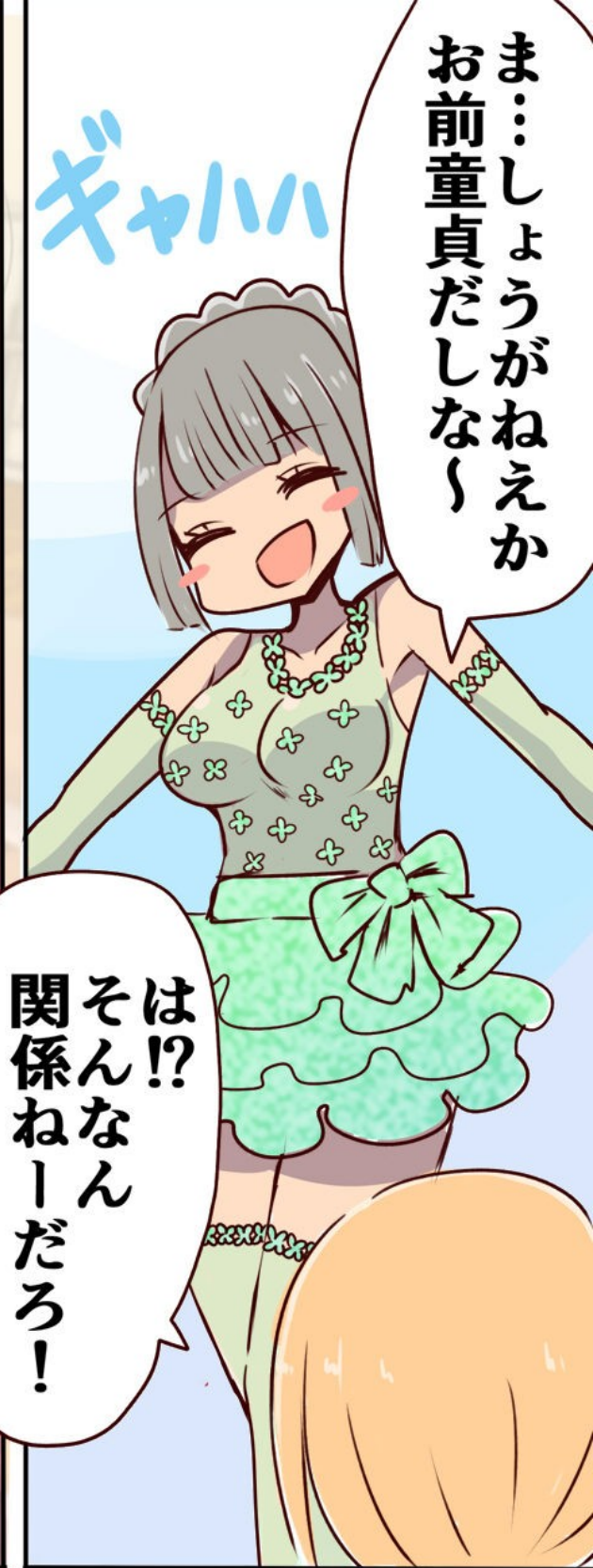
でもイメージ  
通りだぜ?

結局イメージが  
大事なんだよ



あ…この体で  
童貞卒業させてやろうか？

んらっ



ま…しようがねえか  
お前童貞だしなく

ギャハハ

は!?!  
そんなん  
関係ねーだろ!



ぎゃー!

うるせー!



う…

次の日

ふふふ  
女性への変身  
リベンジだ!

勉強してきたからな!

えーぶいでも  
見た?

違う!  
保健の教科書だ!

あちゃー

見てろ!  
完璧だから!  
今回も姫様な!

よしこい

!?

ほら

エロ本

いくぞ...

ズッ





セクハラかよ…  
もお〜…



あんまじろじろ  
見んなよ…

お前ほんと  
女顔だよな  
そのスケベボディでも  
違和感ねえわ〜



うるせー  
変態かよ!

ぎゃー!



へへ…  
今夜その体  
抱かせてくれよ

なっ

